

Tokyo College of Music

2025 Campus Guide



東京音楽大学

音楽のチカラを信じよう。

音楽のチカラで、自分を高めよう。
音楽のチカラで、仲間を増やそう。
音楽のチカラで、社会に貢献しよう。

音楽のチカラで、世の中を動かそう。
音楽のチカラで、国境を越えよう。
音楽のチカラで、未来をつくろう。

東京音楽大学創立115周年特別演奏会
～音楽のチカラで未来をつくろう～
(2022年10月13日・14日 サントリーホール)

音楽学部音楽学科

声楽専攻	・声楽芸術コース 6
	・声楽特別演奏家コース
器楽専攻	鍵盤楽器・ピアノ演奏家コース 8
	・ピアノ
	・ピアノ・創作コース
	・チェンバロ
	・オルガン
弦楽器 10
管打楽器 12

作曲指揮専攻	作曲・芸術音楽コース 14
	・ミュージック・メディアコース 16
	指揮 18
音楽文化教育専攻 20
ミュージック・リベラルアーツ専攻 22
吹奏楽アカデミー専攻 24
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 26

学長メッセージ/建学の精神と理念 2
/ビジョン/沿革/学校組織図	
都心に2つのキャンパス 4
生涯を通した一貫教育 5
カリキュラム構成 28
グローバル教育/マスタークラス 30
教職課程 32
キャリア教育 34

就職支援 35
進路先/採用者メッセージ 36
奨学金/学費/学生寮/その他 38
大学院 [修士課程] 41
大学院 [博士後期課程] 42
コンクール 44
卒業生メッセージ 46
キャンパス/施設 48

建学の精神と理念

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に設立された東洋音楽学校を前身とする、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。

本学は「音楽を通して社会に貢献する」という理念に基づき、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家および音楽教育者を育成してまいりました。この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」という教育の基本理念として、現在の学則と教育にも反映され、その結果、本学は国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界だけでなく、国内外の経済界にも優秀な人材を送り出しています。

東京音楽大学ビジョン

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

学長メッセージ

音楽を学ぶことで、 人間としての力を高めてほしい。

東京音楽大学ようこそ。

音楽を学ぶことは、他のどの学問や芸術の他の表現領域と同様、長い道のりです。それは皆さんが生きていくこととほとんど同じことだと言えるでしょう。演奏、創作、研究、このどの分野においても我われ音楽家は過去を学び、現在を生きながら、未来を切り拓こうとします。このためには、まず人間としての総合的な力、基礎的な力、それと同時になによりも鋭い感性を身につけていくことが重要となります。

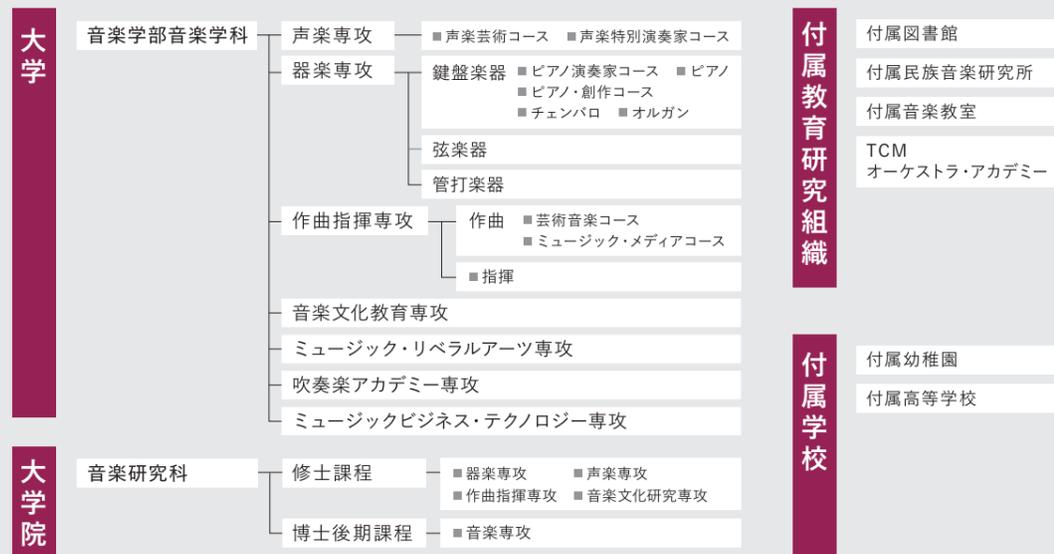
創造的な活動を行なっていくためには、健康でいること、健全な精神を持っていることもとても重要です。なによりも皆さんが蓄えている若いエネルギー、情熱を存分にぶつけてください。そうすれば自ずと道が切り開かれて行くはずです。ぜひ本学でご自身の新たな可能性を発見してください。もし皆さんが音楽の学習を通じて今後より幅広い社会へと飛び立っていくとしても、以上のことはとても大切なのです。

東京音楽大学では、すてきなキャンパスライフが待っていることでしょ。すばらしい先生方のレッスンと同時に、音楽の専門だけにとどまらない多種多様な授業も用意されています。自分の専攻以外のことを知るすばらしいチャンスにもなりますし、国際的な感覚もぜひ磨いてください。ぜひ本学で、人間として、そして音楽家としての力を高めていってほしいと願っております。

学長
野平 一郎



学校組織図(教育・研究組織)



沿革

- 1907年(明治40年) ● 鈴木米次郎が神田裏猿楽町に東洋音楽学校を創立
- 1908年(明治41年) ● 管弦楽部設置
- 1924年(大正13年) ● 豊島区南池袋(現)に校舎移転
- 1949年(昭和24年) ● 付属高等学校開設
- 1950年(昭和25年) ● 付属幼稚園開設
- 1954年(昭和29年) ● 東洋音楽短期大学設立
- 1963年(昭和38年) ● 東洋音楽大学(4年制)に移行
- 1969年(昭和44年) ● 東京音楽大学に名称変更
- 1974年(昭和49年) ● 付属音楽教室開設
- 1975年(昭和50年) ● 付属民族音楽研究所開設
- 1993年(平成5年) ● 大学院音楽研究科修士課程設置
- 2007年(平成19年) ● 創立100周年
記念本館(A館)竣工
- 2014年(平成26年) ● 大学院音楽研究科博士後期課程設置



創立者 鈴木米次郎



創立当初の校舎



2009年 ヨーロッパ・チャリティー演奏会
ムジークフェラインザール(ウィーン)



2022年 東京音楽大学創立115周年特別演奏会

進化し続ける東京音楽大学

- 2017年(平成29年) ● ミュージック・リベラルアーツ専攻新設
- 2019年(平成31年) ● 中目黒・代官山キャンパス開校
吹奏楽アカデミー専攻新設
- 2020年(令和2年) ● 付属高等学校が池袋キャンパスに移転
- 2021年(令和3年) ● 作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」改編
- 2022年(令和4年) ● 創立115周年
池袋キャンパスに新学生寮開寮
- 2024年(令和6年) ● 音楽文化教育専攻改編
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻新設

創造・発信の拠点
中目黒・代官山キャンパス

都心に2つのキャンパス 音楽学修に最適な環境

教育・研究の拠点
池袋キャンパス

中目黒・代官山キャンパス (2019年4月開校)

中目黒駅と代官山駅からそれぞれ徒歩約5分という立地のよさに加え、都心でありながら豊かな緑の中で芸術性・創造性を育む環境です。演奏者と観客の一体感が創出されるTCMホールでは、地域の方にも来ていただける演奏会が多数開催されています。また、最先端の音響設備を備えたTCMスタジオは、全専攻の学生が利用可能です。防音性に優れた80室以上あるレッスン室、大・中・小教室、練習室、クリエイティブラボなど、音楽学修に最適な環境が学修・創作・研究意欲を大いに刺激します。本学最新の取り組みを社会に発信する拠点です。

池袋キャンパス

池袋駅から徒歩約15分、地下鉄副都心線雑司が谷駅から徒歩約5分、社寺が散在し、ノスタルジーを感じさせる街並みに立地しています。806席ある100周年記念ホールを擁する本館では、明るく開放的な空間の中で練習に没頭できます。2020年度よりキャンパス内に附属幼稚園から附属高等学校、大学院まで一貫教育の環境が整えられました。加えて、附属図書館や附属民族音楽研究所も併設され、教育・研究の拠点となっています。2022年4月、敷地内に新学生寮が開寮しました。

生涯を通じた音楽の一貫教育

東京音楽大学には、大学、大学院(修士課程、博士後期課程)のほかに、附属高等学校、附属幼稚園、附属音楽教室に加えて、附属民族音楽研究所、附属図書館も設置され、それぞれの特色を生かした教育・研究システムが用意されています。社会人を対象とした講座も豊富で、生涯を通じた音楽の一貫教育が展開されています。



附属幼稚園

1950年に開園。音楽を取り入れたきめ細かい保育を行うとともに、音楽大学の附属機関である特色を最大限に生かした音楽教育を行っています。また、早期から英語教育を取り入れ、「聞く」「話す」ことが楽しく自然に身につく指導をしています。保育活動、演奏会、実技個人レッスンなどで学んださまざまな力は、豊かな人間性を育てる礎となります。



附属音楽教室

徹底したマンツーマン指導で行われる実技レッスンと、音感を育てるソルフェージュ授業により、大学附属の教室として総合的な音楽教育が行われています。音楽を通して想像力・コミュニケーション力を育む、各人の能力に合わせた指導も行っています。在室生の多くは音楽コンクールで優秀な成績を収め、附属高等学校、東京音楽大学に進学しており、国際的に活躍する演奏家も輩出しています。



附属高等学校

1932年に新設。実技レッスンは大学の教員によって行われ、一人ひとりの実力、能力に見合った指導により、生徒の技術力、表現力、感性が磨かれ、音楽の総合力が高められていきます。附属高等学校の校舎は大学の池袋キャンパス内にあるため、高大一貫教育をさらに進化させ、特色ある高大連携カリキュラムの構築を実現しています。



附属図書館

楽譜7万点、音楽書を中心とする図書5万点、録音・映像資料4万点など音楽を学ぶために必要な資料をそろえ、両キャンパスのカウンターで提供しています。学内外で利用できる学術情報データベース、音楽配信なども拡充しています。2024年9月にリニューアルオープンします。



附属民族音楽研究所

アイヌの音楽を含めた日本伝統音楽、インドのさまざまな音楽やインドネシアのガムラン音楽など、世界の視点から音楽の理論と実践を研究。世界の楽器資料や書籍・音源・映像を所蔵する。リュートなどの欧州の古楽も含め、多彩な公開講座や社会人講座を提供します。作曲家・元学長の伊福部昭により1975年に創設されました。



TCMオーケストラ・アカデミー

2022年4月開設のTCMオーケストラ・アカデミーは、大学卒業以上の方を対象に、高度な演奏技術を教授し、オーケストラ奏者として国内外の職業オーケストラで活躍し、聴衆を魅了する演奏力をもつ音楽家を育成することを目的としています。



声楽専攻

世界を魅了する声楽家を目指して。

世界でたったひとつの自分の声を「楽器」として育て上げるために、基礎的な発声法などを学びます。本学の伝統である多角的かつ複数の教員から受けられる手厚い指導と充実したカリキュラムで、学生一人ひとりがもつ可能性を見出し、磨き上げ、目指す道へ進む力を育みます。

声楽芸術【1年次・全員】

- 基礎的な発声法を学びながら「舞台基礎入門講座」でオペラはもちろん、すべての舞台表現の基礎を学びます。

声楽芸術コース【2～4年次】

- あらゆる歌のシーンで活躍できるよう、歌曲からオペラ、ミュージカルまで、本人の希望に合わせてさまざまなジャンルの曲のレッスンが可能です。
- 「オペラ実習」では、声楽家、演出家、指揮者による手厚い指導が行われます。

声楽特別演奏家コース【2～4年次】

- 「特別実習」では、声楽家、演出家、指揮者らの指導のもと、高度で実践的な授業が展開されます。
- 2年次からの本コースへの在籍生は、定期実技試験の成績などにより決まります。



主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目		声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱 卒業演奏
専門共通科目	必修科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声	—	—
外国語		英語コミュニケーション	外国語 *1	—	—
教養科目		教養演習	—	—	—

【専攻科目】 選択科目：舞台基礎入門講座、特別実習、オペラ実習、フランス歌曲、ドイツ歌曲、ドイツ語歌詞研究、イタリア語歌詞研究

*1: イタリア語・ドイツ語・フランス語から1科目以上(1年次から4年次の間に履修)

メッセージ

教員



プロの稽古場さながらの実践的な授業を、学生一人ひとりの個性や成長度合いに合わせて。

教授 菅 有実子

声楽専攻の最大の特徴は、各学年に舞台芸術系の授業が用意されていることです。歌、指揮、演出、発音など専門の教員がチームとなって、一人ひとりの学生に対して指導にあたり、それはプロフェッショナルのオペラ公演の稽古場さながらです。とはいえ、声や成長の速度は一人ひとり違うので、それぞれの学生に合った配役や場面を考えるなど、丁寧な指導を心がけています。このような授業を通じて歌唱表現、身体表現(演技)はもとより、将来オペラやミュージカルの舞台に立つ時に必要なステージマナー、ストーリーや役柄の深い掘り下げなどをさまざまな角度から実践的に学んでいきます。そして、授業の集大成が試演会です。ひとつの舞台を踏むことによって人は大きく成長します。「オペラやミュージカルをやりたい」という夢をもったら、全力でチャレンジしていただきたい。東京音楽大学には皆さんの夢を受け止め、手厚くサポートしようという教員がそろっています。

卒業生



学びと出会いに感謝。

NHK Eテレおかあさんといっしょ 第21代うたのおねえさん 小野 あつこ

声楽演奏家コース 2014年大学卒業
2016年大学院修士課程修了

「おかあさんといっしょ」の番組を卒業して2年が経ちました。この2年、「全国の子供たちに歌を届けに行く」ことを目標にいろいろな形で活動してきました。その中でもオーケストラとの共演は、今までに経験したことのないスケールの大きなステージで、重責を感じつつもとても充実した時間となりました。また、それぞれの楽器でご活躍されている同窓の方が声をかけてくださり、とても心強くほっとする瞬間でもありました。東京音楽大学の「音楽を通して社会に貢献する」という建学の精神と理念のもと学んできた者として、これからも子供たちに音楽を届ける活動を続けていきたいと思っています。

担当教員



釜洞 祐子 菅 有実子 小森 輝彦 志村 文彦 服部 洋一 横山 恵子 佐野 成宏 中村 恵理 森 麻季 栗園 淳(演出)

【教授】	釜洞 祐子 横山 恵子	菅 有実子 中村 恵理	小森 輝彦 森 麻季	志村 文彦 伊達 英二	服部 洋一 星 洋二	オペラ	演出	【特任教授】 栗園 淳 【専任講師】 伊藤 隆浩		
【特任教授】	佐野 成宏	立原 ちえ子	伊達 英二	星 洋二		【講師】	今井 伸昭	大島 尚志	太田 麻衣子	久恒 秀典
【准教授】	秋山 隆典 緑川 まり	杉野 正隆	木下 美穂子	萩原 みか		身体表現	【講師】	安達 悦子	花柳 けい	
【特任准教授】	木下 美穂子	杉野 正隆	萩原 みか			ディクション	【講師】	エルマンノ	アリエンティ	
【専任講師】	安達 さおり	萩原 みか				声楽伴奏	【専任講師】	服部 容子		
【講師】	浅井 隆仁 清水 勇磨 成瀬 当正 三宅 理恵	川原 敦子 高橋 淳 野田 ヒロ子 嘉目 真木子	九嶋 香奈枝 高橋 洋介 林 正子 (ほか助手)	倉石 真 武田 正雄 藤井 奈生子	黒澤 麻美 田代 誠 藤牧 正充	【講師】	白取 晃司 八木 智子	中井 徳子 湯浅 加奈子	演野 基行 脳田 理佳	前田 美恵子 渡辺 知子

鍵盤からすべてを「表現」し、「発信」する。

それを可能にするのは共感する力、理解する力。

すべてのコースにおいて基礎能力の向上と、自身の特性を発見できるプログラムになっています。共通するポリシーは「作品の意思を聴く人に伝えるため、演奏を学生各自の極限まで磨くこと」「人間の湧き上がる感情と意思が作品にどう投影されているかを冷静に判断する知見をもつこと」です。この演奏芸術の要となる2つを軸に、フィジカルな演奏鍛錬のみならず、作品の分析力や創作力の向上と、「学生各自がもつ作者への親和性」を最大限に引き出しながら学修します。ピアノのレッスンは、希望により複数の教員から学ぶことが可能です。2年次からの「室内楽」「ピアノ実践伴奏」では、他専攻とのコラボレーションの機会が飛躍的に増えます。国内外の演奏家や教育者、さまざまな分野の専門家も招いて行われる「ピアノ作品解釈とキャリア研究」、海外招聘教授によるレッスンや海外短期留学の機会など、多彩な学修プログラムが整えられています。

ピアノ

- 基礎からステージでの演奏、コンクールでの演奏、さらには実際の演奏活動までを個人レッスンを中心に体得します。個人レッスンでは将来指導者を目指すための知識も豊富に得ることができます。
- 全学年対象のオーディションによる学内演奏会、3年次の定期実技試験の成績優秀者による春のコンサートがあります。

ピアノ演奏家コース

- 読譜力の速さと緻密さを養い、長時間の演奏プログラム、作品の様式感を徹底的に学修します。
- 定期実技試験の成績優秀者は、学外で開催される「東京音楽大学ピアノ演奏会」に出演します。

ピアノ・創作コース

- ピアノの個人レッスンに加え、楽曲創作の学修により読譜力を向上させ、自作発表までを経験できます。
- 「創作実技」(作曲)、「作曲理論基礎」(和声・対位法・管弦楽法など)は、作曲「芸術音楽コース」の教授陣が習熟度に合わせた指導を行います。

チェンバロ オルガン

- 本格的なオルガンとチェンバロを備えた環境で楽器の奏法を学びながら、正統的な演奏法を身につけ、ソロのみならず合奏でも活躍できる演奏家を育成します。



器楽専攻

ピアノ



エリン ヴィルサラゼ 特任教授

ローナン オハラ 特任教授

小川 典子 特任教授

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目		ピアノ実技 ピアノ初見法 *1 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2	ピアノ実技 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2	ピアノ実技 伴奏法 創作実技 *2	ピアノ実技 卒業演奏 創作実技 *2
専門共通科目	必修科目	ソルフェージュ 和声 *1 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声 *1	キーボードハーモニー *1	—
外国語		英語コミュニケーション	—	—	—
教養科目		教養演習	—	—	—

【専攻科目】 主な選択科目: ピアノ特別実技*4、ピアノデュオ講座、室内楽、ピアノ指導法、ピアノ・プラクティカル・トレーニング*3、ピアノ作品解釈とキャリア研究、ピアノ実践伴奏、伴奏演習、身体表現と音楽、音楽演奏科学

*1 ピアノコース、ピアノ演奏家コース *2 ピアノ・創作コースのみ *3 ピアノコースのみ *4 ピアノ演奏家コースのみ

メッセージ

教員



常にワクワクし、新たな発想を実現する。

教授 石井 克典

ピアノは初心者でもすぐにたくさんの音が出せる親しみやすい楽器です。音の組み合わせや弾き方によって、ほぼ無限の表現の可能性をもつがゆえに、奏者の個性を発揮できる非常に奥深い楽器でもあります。ピアノで自分の音楽を表現するためには、奏法だけではなく、背景にある思想や社会を学び、作曲家の内面を探ることも必要不可欠です。そうすることで、モチベーションがより明確になるだけではなく、新たな解釈、理解と発想、ジャンルを越えた活動エネルギーの源にもなると信じています。時代を経ても変わらない大切なものは何なのかを考察しながら、音楽をする上でも、社会での活動においても、常にワクワクし、新たな発想を果敢に試して実現してほしいと思います。

担当教員



ピアノ	【教授】 石井 克典	稲田 潤子	大竹 紀子	岡田 敦子	村上 隆	村田 隆	吉田 友昭	若林 顕
	【客員教授】 菊地 麗子	佐藤 俊	武田 真理	播本 枝未子	小川 典子	ギグラ カツアラヴァ	迫 昭嘉	古屋 晋一
	【特任教授】 東 誠三	浦壁 信二	エリソヴィルサラゼ	川上 昌裕	倉沢 仁子	高田 匡隆	広瀬 宣行	松本 和将
	【准教授】 石井 理恵	御邊 典一	川上 昌裕	川島 基	倉沢 仁子	高田 匡隆	広瀬 宣行	松本 和将
	【専任講師】 石岡 千弘	長川 晶子	菊地 裕介	佐藤 彦大	仲田 みずほ	渚 智佳	浜野 与志男	吉田 友昭
	【特任講師】 河村 尚子	小菅 優						
	【講師】 梅根 恵	大崎 結真	海瀬 京子	片田 愛理	河邊 亮子	橋高 昌男	江夏 真理奈	後藤 美由紀
	佐藤 由紀子	島田 美穂	相馬 泉美	智内 威雄	新見 フェイゲン	浩子	野中正	半澤 佑果
	宮崎 和子	森 早苗	森山 あす香	山口 泉恵	山辺 絵理	伊賀 あゆみ	大伏 啓太	加藤 千晶
	清野 香子	坂本 真由美	篠田 昌伸	竹中 勇人	只野 なつき	田中 翔平	寺元 嘉宏	長井 芽乃
	早坂 忠明	藤井 麻理	松下 倫士	横山 さやか	吉本 悟子	(ほか助手)		

チェンバロ	【特任教授】 大塚 直哉	【講師】 大村 千秋	オルガン	【講師】 徳岡 めぐみ	フォルテピアノ	【講師】 小倉 貴久子
-------	--------------	------------	------	-------------	---------	-------------



弦楽器専攻

音楽専攻

美しく豊かな響きを追い求めて。
個性の輝き、そして協調へ。

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求するとともに、それぞれの感性と知識によって楽曲の様式や作曲者の意図をとらえ、どのように表現するかを探求します。また、合奏などの授業において「聴(みみ)」を育て、他と協調し、連帯感を培います。

- 週1回の個人レッスン。
- 1・2年次必修の「管弦楽または合奏」と「弦室内楽」では、アンサンブルの基礎を学びます。
- 国内外招聘音楽家による公開レッスン、公開講座などを受ける機会があります。



主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目		弦楽器実技 弦室内楽 弦楽合奏 *1 管弦楽または合奏	弦楽器実技 弦室内楽 管弦楽または合奏	弦楽器実技	弦楽器実技 卒業演奏
専門共通科目	必修科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声	-	-
外国語		英語コミュニケーション	-	-	-
教養科目		教養演習	-	-	-

【専攻科目】 選択科目: 吹奏楽(コントラバスのみ)、管弦楽または合奏、弦室内楽 *1: ハープ・クラシックギター除く

メッセージ



教員

豊かな心で、未来社会に貢献できる人に。

教授 大谷 康子

人に感動をもたらす演奏は、表現する技術が伴ってこそ。この技術の習得とともに、作品の時代背景、作曲家の意図、様式などを学んでいきます。室内楽やオーケストラの授業では、音でのアンサンブルだけではなく、人とのコミュニケーション能力も養われます。校風として個性を大切に、果敢な挑戦を応援します。豊かな人間として社会貢献につながるように願っています。



在学生

人の心に響く演奏表現を学び、磨く。

山本 志奈

大学院修士課程器楽専攻弦楽器研究領域1年(ヴァイオリン)
2024年大学卒業(東京音楽大学付属高等学校卒業)

個人レッスンでは作品の内容や様式を踏まえた上での演奏や、人の心に響く表現がどのようなものであるかを教わり、今後に生きるとても大切な学びを得られていると感じています。学外での演奏の機会もあり、客層をふまえて演奏会の内容を考えるなど実践的にも学べる環境です。またオーケストラや室内楽の授業でもたくさんの先生方が親身になってご指導してくださる印象が強くあります。学生同士も友好的な雰囲気、有志での活動も盛んです。音楽に真摯に向き合う仲間の姿に日々刺激を受け、自分もがんばろうと練習に励むことができます。大学の主催するマスタークラスや海外での演奏旅行では視野の広がる経験をさせていただきました。豊かな機会に恵まれ仲間と切磋琢磨し合えるこの環境で、音楽的にも人間的にもさらに成長していきたいと思っています。

担当教員



- ヴァイオリン**
- 【教授】 荒井 英治 大谷 康子
神尾 真由子 木野 雅之
竹澤 恭子
 - 【客員教授】 海野 義雄 山口 裕之
 - 【特任教授】 小栗 まち絵 原田 幸一郎
藤原 浜雄
 - 【准教授】 中村 静香
 - 【特任准教授】 横山 俊朗
 - 【専任講師】 鈴木 亜久里
 - 【講師】 近藤 薫 嶋田 慶子
館市 正克 中川 直子
- ヴィオラ**
- 【客員教授】 店村 真積
 - 【特任教授】 百武 由紀
 - 【講師】 大野 かおる 佐々木 亮
- チェロ**
- 【教授】 ドミトリー フェイギン
山本 裕康
 - 【客員教授】 刈田 雅治
 - 【特任教授】 鈴木 秀美 毛利 伯郎
 - 【講師】 門脇 大樹 朴 賢娥
三森 未来子*
- コントラバス**
- 【客員教授】 星 秀樹
 - 【特任教授】 吉田 秀
 - 【講師】 永島 義男 西山 真二
幕内 弘司*
- ハープ**
- 【特任教授】 篠崎 史子
- クラシックギター**
- 【特任教授】 荘村 清志
 - 【講師】 江間 常夫
- 管弦楽・合奏**
- 【講師】 柏原 靖子 杉浦 美知
- 弦(ピアノ伴奏)**
- 【講師】 百武 恵子 諸田 由里子
山崎 早登美
- *: 副科・授業担当



器楽専攻

管打楽器

自らの音を磨き上げ、相手の音に耳を澄ませます。

すべては調和するよろこびのために。

高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家の育成へ。第一線で活躍する世界的に著名な教授陣が、「プロフェッショナルを目指す学生」に対し、真摯で熱心な指導を行います。さらに、個々の音楽技能の向上だけでなく、あらゆるステージで生かすことのできる基礎を1年次から順序立てて学べるアンサンブルの授業も充実。合奏における協調性と意思疎通の能力を磨くことを重要視したレッスンは、他者との調和を学びながら一緒に音楽を創造する能力が培われます。単に技術的な指導に留まらない人間力を育む指導は、プロフェッショナルのプレイヤーとして活躍する優れた演奏家のみならず、社会的に責任感のある個人として成長できる人材を多く輩出しています。

- 「管弦楽または合奏」では、1年次に同属合奏や木管五重奏、金管五重奏などで合奏の基礎を、2年次からは管打楽器によるオーケストラスタディ、そしてフルオーケストラと、アンサンブル技術を段階的に学んでいきます。
- 「Sオケ」「Aオケ」の2つのオーケストラと、「Aプラス」「Bプラス」の2つの吹奏楽が生まれ、いずれも構成は学生のみ。本学ならではのスケールメリットです。
- キャンパスが立地する目黒区と豊島区のそれぞれにて開催される地域連携コンサートなど、学外で演奏できる機会も多くあります。



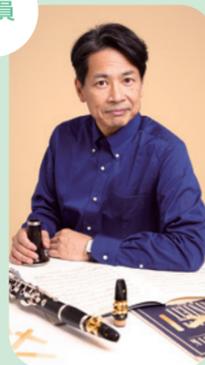
主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目		管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技	管打楽器実技 卒業演奏
専門共通科目	必修科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声	—	—
外国語		英語コミュニケーション	—	—	—
教養科目		教養演習	—	—	—

【専攻科目】 選択科目：吹奏楽、管弦楽または合奏、室内楽、管打指導演

メッセージ

教員



演奏技術を磨きながら、アンサンブルや合奏を通じて社会でも通用する人材を育てていく。

教授 野田 祐介

管打楽器はソロ、室内楽、吹奏楽、オーケストラと活躍の場がたくさんあります。本学のレッスンでは現役演奏家である指導陣が基礎からソロ曲まで懇切丁寧な指導を行います。そして管打楽器に特に求められるのが合奏能力です。レッスンと日々の練習で培った基礎をもとにアンサンブルの授業も同時に行います。1年生から同属楽器や木管五重奏、金管五重奏などの合奏、1、2年生で構成するBプラス、2年生からオーケストラスタディ分奏と室内楽、3、4年生はAプラスとオーケストラの授業があります。

本学は弦楽器やピアノも優秀で人数もいることから、室内楽やオーケストラにおいて弦楽器やピアノの学生たちと一緒に演奏することができます。これは管打楽器にとって大切なことです。学生の将来の目標はオーケストラ、吹奏楽団の奏者、室内楽奏者、ソリスト、指導者などさまざまある中、各々の技術を磨くことはもちろん、合奏を通じて相手を尊重し協調することができる、社会でも通用する人材を育てていきます。

担当教員



フルート	【教授】 工藤 重典 【准教授】 前田 綾子 【客員准教授】 中野 真理 【特任准教授】 岩佐 和弘 【講師】 相澤 政宏 甲斐 雅之 神田 勇哉	ファゴット	【特任教授】 水谷 上総 【講師】 宇賀神 広宣 長 哲也	トランペット	【教授】 アンドレ アンリ 【客員教授】 津堅 直弘 【特任教授】 岡崎 耕二 【准教授】 杉本 正毅 【講師】 高橋 敦 辻本 憲一 長谷川 智之	ユーフォニアム	【教授】 外圍 祥一郎 【特任教授】 露木 薫 【講師】 岩黒 綾乃
オーボエ	【教授】 古部 賢一 【客員教授】 宮本 文昭 【講師】 荒 絵理子 南方 総子	サクソフォーン	【教授】 小串 俊寿 【講師】 波多江 史朗 平野 公崇 本堂 誠	トロンボーン	【教授】 栗田 雅勝 【特任教授】 新田 幹男 【特任准教授】 吉川 武典 【講師】 井口 有里 岸良 開城	打楽器	【教授】 神谷 百子 久保 昌一 菅原 淳 【客員教授】 山田 徹 【特任教授】 宮崎 泰二郎 【特別招聘教授】 柴原 誠 【講師】 西久保 友広 堀尾 尚男
クラリネット	【教授】 野田 祐介 【客員教授】 四戸 世紀 【特任教授】 松本 健司 【准教授】 重松 希巴江 【特任准教授】 伊藤 圭 【講師】 勝山 大輔	ホルン	【教授】 森 博文 【客員教授】 水野 信行 【准教授】 福川 伸陽 【講師】 勝保 泰 富成 裕一 日橋 辰朗 吉永 雅人	バス・トロンボーン	【講師】 野々下 興一	指揮	【講師】 石崎 真弥奈 近藤 久教
				テューバ	【講師】 荻野 晋 近藤 陽一	管弦楽または合奏	【講師】 井上 亮 副田 真之介 (ほか助手)



作曲

作曲指揮専攻

芸術音楽コース

先人の技法を学び、自分だけの音を紡ぐ。

創作するよろこびがそこにある。

作曲「芸術音楽コース」では、古典から現代に至る作曲技法を学びながら、さまざまな編成の楽曲を創作することで創作力および対応能力の養成を図ります。劇音楽やゲーム音楽など商業音楽分野の作編曲に興味のある学生は、芸術音楽をベースにしながらマルチメディアに対応したレッスンを受けることも可能です。また、自作品の演奏機会が数多く設けられているのも、本コースの魅力のひとつです。

- 1年ごとに指導を受ける教員を自由に選べます。
- 「作曲理論」は、1年次と2年次でオーケストレーション、3年次はコンピューターを使用した音楽と吹奏楽作編曲を学び、4年次は、さらなる個性の伸長を目的に、総合的な作曲能力を高めます。

作曲ワークショップ



2003年より毎年、本学ホールで開催している学長賞受賞作品選考演奏会。最優秀作品には「東京音楽大学学長賞」(賞状と賞金)が授与されます。

主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目		作曲実技 作曲理論 対位法	作曲実技 作曲理論 対位法 指揮法	作曲実技 作曲理論	作曲実技 作曲理論 卒業作品
専門共通科目	必修科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ	—	—
外国語		英語コミュニケーション	—	—	—
教養科目		教養演習	—	—	—

【専攻科目】 選択科目: コンピューター・サウンドテクニク
*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

メッセージ

教員



古きを知り新しきを探求する。

教授 野平 一郎

音楽は今でこそ「過去のを演奏したり、研究したり」することが主のように思われていますが、本当は創作の分野が活発にならないと音楽芸術全体が減ってしまうでしょう。ぜひ作曲に挑戦して、自分の世界を発表してみませんか。
古きを知り新しきを探求する～過去の作品を学び、また近年の創作を研究することで、音楽がどうやって発展してきたかが理解できると次第にあなた自身の作曲、あなた自身の「音」による創作が可能となります。それは誰のものとも違う、あなたの考え方によるあなたの音楽です。作品をつくることは自己との戦いですが、作品ができた時のよろこびはなにものにも代えがたいものです。
あなたの前には無限大の世界が広がっています。ぜひあなた自身の手で、次に来る世界を作ってみませんか。

在学生



自分の専門分野はもちろん、さまざまなことを学べた4年間。

麻生 海督

2020年大学卒業 2022年大学院修士課程修了 大学院博士後期課程(成田高等学校卒業)
第26回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第2位並びに畑中良輔賞

さまざまな音楽を書きたいと思っていたので、芸術音楽だけでなく、商業音楽にも強い東京音楽大学は僕にピッタリだと思いました。学生主体で自由に演奏会を開けるところも魅力でした。4年間を通して、自分の専門分野以外にもしっかりと目を向けるようにしました。芸術分野だけでなく、社会的なことやいわゆるサブカルチャーといった領域まで、僕の創作活動において大きなヒントになっています。作曲科の必修授業で「作曲理論」という授業があります。毎年内容も先生も替わって作曲の基礎を叩き込まれるのですが、ディスカッションなどを通して作曲技法・様式にとどまらず、思想や言語感覚、論理といったことまで徹底的に鍛えられました。

担当教員



中橋 愛生 野平 一郎 原田 敬子 藤原 豊 嵯場 富美子 柴山 拓郎 細川 俊夫 有馬 純寿 植田 彰

【教 授】 中橋 愛生 野平 一郎 原田 敬子 藤原 豊
【客員教授】 嵯場 富美子
【特任教授】 柴山 拓郎 細川 俊夫
【准 教授】 有馬 純寿 植田 彰

【専任講師】 土屋 雄
【講 師】 赤石 直哉 伊左治 直 磯部 英彬 神山 奈々 喜久 邦博
淡谷 由香 竹澤 透 照屋 正樹 久田 典子 久行 敏彦
茂木 宏文 森垣 桂一 山下 美香

作曲

作曲指揮専攻

時代に対応したさまざまな音楽ジャンル、メディアに。

音楽業界で即戦力となれる人材に。

音楽業界で即戦力となるために、商業音楽分野で必要とされる作編曲法を基礎から学び、プリプロダクション、スタジオレコーディング、セルフ・プロデュースによる楽曲制作などを実践しながら、多様化したメディアに対応し、自分の音楽を積極的に世界へ発信できるアイデアと頭脳を併せもつ、時代に求められるセルフ・プロデュース能力のある人材の育成を目指します。

- 1年次は、週に複数回の課題提出により、「毎日作曲をする習慣」を養います。
- 2年次は、指定された構成、編曲、曲尺、用途、目的などの条件を満たす楽曲制作能力を養います。
- 2年次以降で、キーボード、ギター、ベース、ドラムスやソングライティングなどを深く追求するための選択科目を受講できます。
- 3年次は、ビッグバンド、ストリングスなど、ホブスにふさわしいオーケストレーション能力を修得し、代表的な編成での作編曲法を学びます。
- 4年次は、スタジオ録音、編集作業を実践的に学びます。
- 卒業制作としてセルフ・プロデュースによる自作曲のアルバム制作を行います。
- 「コンピューターアシテッドコンポジション」の授業で、1年次より4年間、音楽制作だけにとどまらない、時代の最先端のスキルを修得します。

ミュージック・メディアコース



主なカリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
専攻科目	必修科目	作曲実技 和声実習 シンセサイザー コンピューターアシテッドコンポジション 4リズムヘッドアレンジ ピアノコードワーク		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション 映像と音楽・分析と解釈 オーケストレーション スタジオエレクトロニクス		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション 映像と音楽・分析と解釈 オーケストレーション		作曲実技 コンピューターアシテッドコンポジション スタジオ・セッション	
専門共通科目		ピアノ(副科) ソルフェージュ 西洋音楽史概論 ポピュラー音楽史概論		ソルフェージュ ミュージック・ビジネス概論		ミュージック・ビジネス概論		ミュージック・ビジネス概論	
外国語		英語コミュニケーション		—		—		—	
教養科目		教養演習		—		—		—	

【専攻科目】 選択必修科目： インストゥルメンツ・ベーシック、インストゥルメンツ・アドバンス
 【専攻科目】 選択科目： コンピューター・サウンドテクニク、ソングライティング実習、4リズムヘッドアレンジ
 *2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

メッセージ

教員



新しい感性と才能が、エンターテインメントを飛躍させる。

特任教授 佐藤 直紀 作曲「映画・放送音楽コース」*第1期生

あなたたちの創る音楽がエンターテインメントの世界を変える。そのお手伝いとして、作編曲法、プログラミングテクニク、アコースティック楽器とシンセサイザーの融合とその可能性、映像における音の役割や技術、商業音楽を職業とするために必要な知識など、今、あなたたちが知りたいと思っていること、知っておくべきことを本コースの講義でできる限りお伝えしたいと考えています。あなたたちのもっている新しい感性と才能はエンターテインメント業界の希望です。混群に紛れることなく、誰よりも高く飛翔し、誰よりも広大なフィールドを旋回する姿を期待して、本気で応援していきます。

■ 第29回日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞 ■ 第31・38・40・44・47回日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞

■ 主な作品

【映画】「海猿」、「ALWAYS 三丁目の夕日」、「るろうに剣心」、「永遠の0」、「STAND BY ME ドラえもん」、「マスカレード・ナイト」、「ゴジラ-1.0」、「陰陽師0」ほか多数
 【ドラマ】「GOOD LUCK!!」、「WATER BOYS」、「コード・ブルー-ドクターヘリ緊急救命-」、「大河ドラマ「龍馬伝」「青天を衝け」、「教場」、「ブルーモーメント」ほか多数

【アニメ】「プリキュア」シリーズ、「交響詩編エウレカセブン」、「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」ほか多数
 【その他】「横浜F・マリノス 25周年記念アンセム」、東京オリンピック・パラリンピック表彰式楽曲「TOKYO2020 Victory Ceremony」ほか多数

教員



プロフェッショナルな体験と学びを得る。

特任教授 山下 康介 作曲「映画・放送音楽コース」*第4期生

本格的な商業音楽の作編曲を学べる音楽大学は、現在でこそ数多いですが、このミュージック・メディアコース(旧映画・放送音楽コース)はその先駆的存在でした。第一線で活躍する先生方をはじめ、本格的なレコーディングスタジオなど、約30年の間、常に変化し続ける音楽シーンとともに発展してきました。音楽を学ぶということは、よい音楽体験をすることでもあります。そのためのプロフェッショナルな環境がここにはあります。皆さんの想いと行動次第で、可能性は無限大に広がることでしょう。ぜひ世界で活躍できるクリエイターを目指してください。

■ 主な作品

【映画】「花筐/HANAGATAMI」、「転校生〜さよならあなた」、「忌怪島」ほか
 【ドラマ】「花より男子」、「クロサギ」、NHK連続テレビ小説「瞳」ほか
 【アニメ】「ちはやふる」、「それでも世界は美しい」、「Xenosaga THE Animation」ほか

【特撮ドラマ】スーパー戦隊シリーズ「轟太郎戦隊ドンブラザーズ」、「仮面ライダーセイバー」ほか
 【ゲーム】歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」シリーズほか

*現:作曲「ミュージック・メディアコース」

担当教員



【教員教授】 藤原 豊 堀井 勝美 難波 弘之
 【客員教授】 花場 富美子 小六 禮次郎 山下 康介
 【特任教授】 大和田 俊之 佐藤 直紀
 野呂 一生(エレクトリックギター)
 宮城 純子(ピアノコードワーク)
 Shusui(ソングライティング)

【准教授】 石川 洋光 土屋 真仁 後藤 加寿子
 【専任講師】 梅野 絵里 後藤 慶一 林 秀幸
 【特任講師】 今井 義頼 山田 裕之
 【講師】 石川 晃士郎 小野 昭彦
 久田 典子 本田 綾香

指揮

作曲指揮専攻



楽曲を深く理解し、自らの意思を伝える。

その情熱から表現は生まれる。

指揮者として、多くの人々とともにより多彩、より深遠、より豊潤な感動を実現するために、高度な専門知識と技能をもち、深い教養に裏づけられた人格を磨きます。技能の巧みさや音響的感動だけを追い求めるのではなく、それぞれの作品が人の心になにをもたらしべく書かれたかを理解し、それを実現するための表現力の獲得を目指します。

- 週1回の個人レッスン。
- 「実践レッスン」では、学生有志オーケストラの協力を得て実践的な指揮の体験を積みます。
- 指揮活動の基礎として、複数の楽器のレッスンを受けることができます。
- 年度末にはオーケストラを指揮する実技試験を実施します。



主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目	指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法	指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 楽器奏法	指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング	指揮実技 オーケストラ実習 音楽理論 スコアリーディング 卒業演奏
専門共通科目	必修科目 ピアノ(副科) ソルフェージュ 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ	ピアノ(副科)	ピアノ(副科)
外国語	英語コミュニケーション	—	—	—
教養科目	教養演習	—	—	—

メッセージ

教員



指揮者はもちろん、社会に貢献できる人材を育てる。

教授 広上 淳一

指揮科ではさまざまな人を広く受け入れる、という理念を掲げています。東京音楽大学は実に刺激的なところですよ。入学したらぜひ、どんなことにも果敢に挑戦してみてください。時には挫折を味わうこともあるかもしれませんが、しかし、どんなにマイナスに思えることでも経験して、「絶対ということがない」ことを学んでほしい。それを自分の音楽への糧とし、困難に立ち向かう姿勢があればきっと道は拓けると思います。ともに真剣に考えることを通して明晰な頭脳と人間としてのキャパシティを手に入れてください。そして、ここで学んだことを通じて指揮者はもちろん、社会に貢献できる魅力のある人材に育ってほしいと思っています。

卒業生



「人間力」こそが社会でもっとも重要で大切なこと。

指揮者 石崎 真弥奈

2024年4月本学講師に着任
2011年大学院修士課程修了
2009年大学卒業
(国立音楽大学附属高等学校卒業)

指揮者は、人とどう接するかが一種の哲学だと感じています。学生時代、音楽の勉強ももちろんですが、「人間力」こそが社会でもっとも重要で大切なことであると教えていただきました。「逃げたくなるような状況でも、人への愛情をもち続ける」という教えが、現在の私をつくっています。学生時代は「自分がどんな音楽家、指揮者でありたいか」を考え続けることが重要で、それが具体的になっていけば、本学の指揮科は多くの先生が導いてくださるので、夢への行動が加速します。東京音楽大学は自分の可能性に思いきり挑戦し、同時に多くの失敗も経験させてくれる環境。同級生と先輩・後輩という切磋琢磨する音楽仲間が多くいる、人に恵まれた大学です。

卒業生



学生のうちからオーケストラを指揮できる魅力。

荒木 流音生

2024年大学卒業
(現職学園高等学校卒業)

東京音楽大学の指揮科は毎週の指揮の個人レッスンに加え、音楽理論や、実際のオーケストラを用いた定期的な「実践レッスン」など豊かなカリキュラムとなっています。学生のうちからオーケストラを指揮できる機会があるのはどこを探しても東京音楽大学しかなく、さらにプロの器楽の先生方から現場の声としてアドバイスをいただけるのも大きな特色だと思います。指揮科では、音楽の勉強のみならず、自分自身と対峙していく時間がとても多くなります。自分が何者なのかを常に考える生活を送ることにより、物事を深く考える力が身につきます。自分の音楽力だけではなく、人間力も鍛えられるのは東京音楽大学の指揮科のよさです。

担当教員



広上 淳一 リック オヴァトン 田代 俊文 増井 信貴 ジョン アクセルロッド ボリス ベルキン 岩佐 和弘

【教 授】 広上 淳一 リック オヴァトン	【講師】 石坂 宏 井上 勢津	【特別アドバイザー】 会田 莉凡 新 眞二 池松 宏 石井 啓一郎 石川 祐支
【客員 教授】 田代 俊文 増井 信貴	太田 巡 奥田 恵悟	今川 裕代 岩佐 朋彦 岡田 奏 奥田 雅代 鎌田 泉
【特別招聘教授】 ジョン アクセルロッド	小野 富士 加納 明洋	上村 文乃 川本 嘉子 後藤 悠仁 後藤 良平 小林 有沙
ボリス ベルキン	河上 隆介 喜古 恵理香	小林 美樹 桜庭 茂樹 田島 奈央子 田村 博文 野田 清隆
【特任准教授】 岩佐 和弘	杉原 直基 平林 遼	服部 亜矢子 藤田 崇文 森下 幸路 吉野 直子 米元 響子
【専任 講師】 田島 亘祥	堀 大輔 三河 正典	渡邊 穰
【特任 講師】 川瀬 賢太郎 坂元 勇仁	水戸 博之 三原 明人	【アドバイザー研究員】 朴 賢娥 福田 ひろみ
松井 慶太	茂木 大輔 米津 俊広	【助 手】 逢坂 愛 菅原 達郎 沓澤 玲奈 滝本 紘子 中西 亮
【特別招聘講師】 高島 勲 藤井 宏一郎		【研 究 員】 浅野 将己 五島 友朗 松村 詩史

音楽文化教育専攻

音楽で仕事を創造する。

国境を越え人々を結び、心をつなぎあう。音楽は、言葉を超越する共通の言語です。東京音楽大学の「音楽文化教育」は、そんな音楽のチカラを積極的に社会に発信しようとする人のための専攻です。音楽を通じた活動の可能性について模索し、研究や教育をはじめ、ホールの企画、コンサートの解説やオペラの字幕制作・演奏家の通訳、そのほか多様な世界へ。音楽に携わりながらクリエイティブな生き方を目指す人材を輩出します。

- 入門科目で音楽文化全体を見渡したあと、「芸術としての音楽」「現代社会と音楽」「多様性の中の音楽」「音楽と教育」から自分の学びの柱を決めて、知識とスキルを獲得し、ゼミナールで実践経験を積む。段階的にあなたの力を伸ばしていくカリキュラムが特徴です。
- 少人数による発展型ゼミナールや、学外での実践やPCでの創作を伴うプロジェクト型授業、実技を伴うワークショップなどの協働型授業を多く設定。これらの実践型授業に活用できるよう、iPadを支給します。
- 地域、科学博物館、医療機関などとの連携プロジェクトを実施予定。音楽文化のダイナミズムに触れ、幅広い教養を身につけることが可能。



主なカリキュラム

専攻科目		1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門共通科目	必修科目	音楽文化教育入門		音楽文化教育の最前線		—		卒業研究ゼミナール	
		—		—		—		—	
		ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論 世界音楽概論 日本音楽史概論		—		—		—	
		英語コミュニケーション		—		—		—	
外国語 教養科目	教養演習		—		—		—		
専攻科目	選択必修科目	—		音楽と歴史 音楽と社会 音楽と価値		—		—	
		—		—		ゼミナール		—	
		—		現代社会と音楽		音楽と文化 音楽とメディア 音楽とマネジメント		—	
		—		—		ゼミナール		—	
		—		多様性の中の音楽		世界音楽の視点と課題 コミュニティと音楽 伝統と現代		—	
—		—		—		ゼミナール		—	
—		—		音楽と教育		音楽教育とAI 音楽とカリキュラム 音楽と指導法		—	
—		—		—		ゼミナール		—	

【選択科目】音楽実技

メッセージ

教員



音楽文化のブレーンになって、新しい音楽文化をリードしよう。

教授 藤田 茂

音楽文化教育は、音楽であなただけを見つける専攻、音楽であなただけが見つかる専攻です。音楽のことは大好きだけど、未来の自分にどうつながっていくのか分からない。音楽を教える仕事につきたい、音楽を扱うマネージャーやアントレプレナーになりたい、音楽を語るジャーナリストになりたい、はたまた世界で活躍する学術研究者になりたい——そうした漠然としたイメージから、あなたにしかできない音楽との関わり方を見つけてください。そのために、この専攻で音楽を考え抜くことが、新しい音楽文化をリードする唯一無二のブレーンとしてあなたを花開かせるのです。また本専攻は自分の学びをかなり自由に組み立てることができる場所ですから、いったん社会に出た方が、自分と音楽をもう一度見つめ直すのにも最適です。

卒業生



さまざまな形で音楽と関わり、進路選択の視野も大きく広がる。

イラストレーター・デザイナー 櫻井 れいな

公益財団法人としま未来文化財団所属、ACTプロジェクト助手
音楽教育専攻実技専修コース* 2015年大学卒業(東京音楽大学付属高等学校卒業)

本専攻では実技以外にも「学問・知識としての音楽」「コミュニケーションツールとしての音楽」など、音楽の世界を多角的に学ぶため、進路選択の視野が大きく広がります。また、同じ専攻内でもそれぞれ異なる楽器を履修しているため、さまざまな編成を組んだり、鍵盤ハーモニカなどの教育楽器を用いたアンサンブルで活動するなど、演奏面でも楽しく色濃い体験ができました。私自身、現在は文化財団に所属する傍らで、コンサートやワークショップ、公共ホールでのイベントなどのフライヤーや演出をてがげたりと、演奏以外のさまざまな形で音楽に関わっていますが、今の自分があるのは大学時代の経験があったからこそだと考えています。仲間とともに柔軟に学び、音楽業界や音楽教育の現場に羽ばたいていきたい方にぴったりの専攻です。

*2020年度より音楽文化教育専攻に改編

予想される進路

- 音楽科教諭(小・中・高)
- 音楽指導者(音楽教室所属/個人経営)
- 音楽関連企業
- 行政や一般企業の文化事業担当部署
- ホールなどの文化施設やオーケストラ事務局などの芸術団体
- ジュニアオーケストラや合唱団の指導者
- 福祉施設などでの音楽活動の実践者
- 音楽研究者、ジャーナリスト、ライター
- 放送局や出版社の企画・編集者 など

担当教員

- | | | | | |
|--------------------|-----------------|--------------------|-----------------------|--------------|
| 【教 授】 小日向 英俊(世界音楽) | 武石 みどり(音楽学) | 藤田 茂(音楽学) | 【講師】 赤木 舞(アートマネジメント) | 赤羽 美希(音楽教育) |
| 村田 千尋(音楽学) | | | 井上 勢津(音楽療法) | 太田 暁子(日本音楽) |
| 【特任教授】 佐野 靖(音楽教育) | | | 坂本 夏樹(アートマネジメント) | 周東 美材(音楽社会学) |
| 【准 教授】 下道 郁子(音楽教育) | 土屋 真仁(PCミュージック) | 福田 裕美(コミュニティ音楽文化論) | 園田 みどり(音楽学) | 野中正(ピアノ) |
| 新林 一雄(音楽学) | 立原 ちえ子(声楽) | 広瀬 宣行(ピアノ) | ピノス マツダ デレク ケンジ(音楽教育) | |
| | | | 洲上 ラファエル 広志(世界音楽) | 村田 圭代(音楽学) |

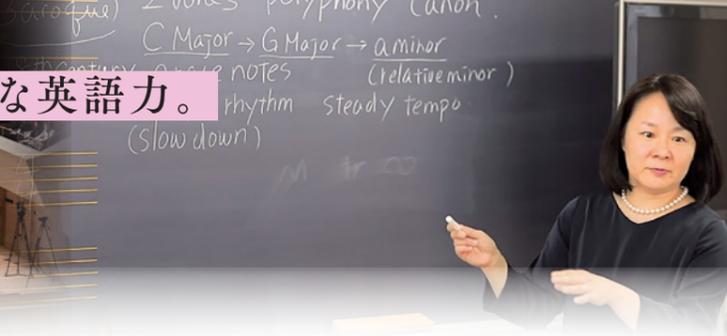
音楽と教養 —2つの柱と実践的な英語力。

ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽と英語、リベラルアーツの力で世界へ羽ばたく。

音楽大学におけるまったく新しい、音楽も英語もリベラルアーツもしっかり学べる専攻です。音楽科目は器楽専攻や声楽専攻など同プログラム。そして、英語科目は一般大学の外国語学科よりも少人数のクラスからスタートします。卒業後は演奏家からビジネスパーソンまで多種多彩。英語が音楽活動を広げ、海外留学や国際コンクールに挑戦する者もいれば、音楽を「知」の核としてメディアや広告関連など一般企業で活躍する者もいます。在学中は「音楽」を中心に学ぶことも、「英語」「英語による教養」を中心に学ぶことも自由自在です。

- 音楽科目は、1~4年次を通して東京音楽大学ならではの高度なカリキュラム。
- 英語による英語科目によって、入学半年後にはほぼ英語が聞き取れるようになる。
- とくに人気の「チュートリアル・イングリッシュ」はネイティブスピーカーの教員1人に学生4人。
- 2年次から英語によるリベラルアーツ(教養)科目開始。習うより使って上達。
- 3年次には東京大学先端科学技術研究センターとの協同科目「音楽の学際研究」で高度な学びができる。
- 3年次後半から英語による卒業論文作成開始。プレゼンにも磨きがかかる。
- 卒業演奏／作品+卒業論文(英語)で、世界へ羽ばたく最強の人材に。



主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目/ 選択必修 科目など	個人レッスン(声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器・作曲・指揮・古楽器・邦楽器より選択)							
	MUSIC		ソルフェージュ 和声		—		卒業演奏・制作	
	ENGLISH/ LIBERAL ARTS		チュートリアル・イングリッシュ アカデミックライティング アカデミックプレゼンテーション ディベートとディスカッション		リベラルアーツ科目(英語で授業) 人文科学系… ヨーロッパの社会・文化、ヨーロッパ史、音楽史、ジャズヒストリー など 社会科学系… 国際関係論、日本の文化と社会、異文化交流、経営と音楽 など 自然科学系… 音楽心理学、音楽療法、プログラミング など			
	専攻科目		英語学概論/日本語		イントロダクション トウ ミュージックヒストリー/ミュージック スタディーズ/音楽の学際研究 など 英語で学ぶフランス語/ドイツ語			
選択科目	他の専攻で開講している音楽科目(実技・講座・アンサンブルなど)/交流大学単位互換科目							
教養科目	教養演習		—					

【そのほかの選択科目】 指導者養成管弦楽・吹奏楽、音楽基礎科目、教養科目・外国語 など
 *英語力が特別に優れている学生はリベラルアーツ科目の一部を1年次から履修可能 *上智大学単位互換科目は2セメスター目より履修が可能

メッセージ



教員

将来の道が大きく広がる。
 教授 岡田 敦子
 ミュージック・リベラルアーツ専攻の雰囲気は、まさに「多様性」と「活気」です。学生がそれぞれ専門とする分野は声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、邦楽器とさまざま。入学時のレベルも、トップクラスの人から、入学後に音楽を本格的にはじめる人までさまざま。英語のほうも、バイリンガルの人から、ようやく英検準2級の人までさまざまです。こうしてあらゆる面で多種多様な学生が集まり、それぞれの個性と長所がぶつかり合うことによってきわめて活発な雰囲気が生まれています。話し下手な人も、「プレゼンならできる」に変身していくのは不思議なほどです。音楽のみならず人生に成功してほしい、それがMLA専攻のポリシーです。



卒業生

それぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場なのです。
 宮下 まゆき 2022年大学卒業(浜松学芸高等学校卒業) 第17回東京音楽大学コンクール ピアノ部門第1位
 私はアメリカに住んでいたため、英語を話す環境があり、またピアノに打ち込みたかったので、英語と音楽を勉強することができるMLA専攻は私に最適でした。MLA専攻は少人数なので皆仲がよく、向上心を持っているので互いにいい刺激となります。音楽という枠にとどまらず、視野が広がりますし、個性ある仲間との出会いもおもしろいです。音大といえど学び方は人それぞれなので、自分らしい学びを追求してほしいです。東京音楽大学はそれぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場です。自分のやりたいことは何であるかを常に模索し、全力で向かっていってほしいです。

担当教員

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| 【教 授】 大竹 紀子*
岡田 敦子*
リック オヴァトン | 【特 任 教 授】 柴崎 かがり 高岡 明
竹内 佐和子 中野 明彦
山崎 泰規 | 【准教授】 早坂 牧子*
【講 師】 キム ロッケル コーリン クリスティナ シュムコー
高橋 寛 バトリック ハイネ |
|-------------------------------------|--|---|

*アカデミック・アドバイザー





吹奏楽をより深く、アカデミックに学ぶ。

吹奏楽アカデミー 専攻

正しい吹奏楽の知識をもった演奏者や指導者を育成し、その資質を武器にメディアや音楽関連企業、一般企業など業種を問わず社会で活躍できる人材を世の中に送り出すことを目指します。よい指導者であるためにも、よい演奏家、よい音楽家に。そのために個人レッスンや合奏の授業を通して確かな技術と豊かな音楽性を獲得します。学生一人ひとりに合わせた個性を引き出す授業科目を多く用意し、学生が希望する進路に合わせた学修内容を選べる、専攻独自のカリキュラムを構成しています。

- 「バンドディレクション」では、さまざまな指導法に触れ、方法論や計画性、コミュニケーション能力を身につけます。
- 「ワークショップ」では吹奏楽にまつわるさまざまな職業の現地に立ち会うなど、実体験をします。
- 「吹奏楽合奏」「管打アンサンブル」では講師陣も学生と一緒に演奏し、その場で演奏のアドバイスやプロの音を間近で聴くことができます。
- 吹奏楽で用いられるすべての楽器に関する知識を身につけ、指導法や作編曲に結びつけます。
- 段階的に設定された理論系の授業で学ぶことで、吹奏楽の作編曲の能力を修得します。
- マーチングやポップス、作曲など専門性の高い分野に関する知識と能力をより深化させる授業科目も充実しています。



主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専攻科目	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏		専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏 卒業演奏	
専門共通科目	必修科目 ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論		ソルフェージュ 和声 吹奏楽史		作曲法		—	
外国語	英語コミュニケーション		—		—		—	
教養科目	教養演習		—		—		—	

【専攻科目】 選択科目：楽器別指導法、ワークショップ、管打アンサンブル、指揮法演習、吹奏楽作編曲、スコアリーディング、吹奏楽ポップス研究、マーチング演習

メッセージ

教員



夢は見るだけでなく、つかみ取ろう。

教授 小串 俊寿

「バンドディレクション」では全国で活躍されている教育現場の先生方をお招きして、吹奏楽指導法や運営法、ゼロからのバンドの立ち上げ方など、将来現場に立った時に実践できる生きた講座を展開します。また、「吹奏楽合奏」では、吹奏楽アカデミー専攻講師陣が常に合奏と一緒に演奏しながらアドバイスをし、その吹奏楽合奏での指揮と「指揮法演習」の授業では、下野竜也特任教授を中心に、小林恵子講師、横山奏講師の3人が指導します。このほかにすべてが実践的で魅力あるカリキュラムになっています。この世界、時には壁にぶち当たりますが、その壁を乗り越えた時、楽しさは何倍にもなる。さあ、一緒に夢に向かっていきませんか？

在学生



楽器の垣根を越え、先生方と演奏できる刺激。

藤本 知子

大学院修士課程音楽文化研究専攻吹奏楽研究領域1年
吹奏楽アカデミー専攻 サクソフォーン 2024年大学卒業(埼玉県立大宮高等学校卒業)
第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール木管楽器部門 大学生の部 第3位(1位なし) ほか

音楽大学を目指そうだなんて思ってもいなかった私ですが、今まで熱中してきた吹奏楽を学べる魅力的な専攻が新設されたことを知り、進学を決めました。実際に過ごして感じる吹奏楽アカデミー専攻のほかにはない魅力は、楽器の垣根を越えて先生方と演奏する機会があることです。自分の専攻楽器からの目線だけでなく、多角的なご意見をいただくことができます。本専攻は演奏だけでなく指揮、作編曲、マーチングなど幅広く扱っています。フレキシブルな部分も多いので、どう学び、なにを目指していくか…この環境の生かし方は自分次第です。やる気がある人にとってみれば、自分の気持ちを届けやすかったり、熱い気持ちには全力で応えてくださる先生方との距離が近かったりなど、こんなにも恵まれた環境はほかにはなく、もっとこの環境で学びたい、その思いから大学院に進学しました。決して部活の延長線ではない、もっと深い部分で吹奏楽が学べる吹奏楽アカデミーで過ごす日々は、とても刺激的なものになると思います。

担当教員



小串 俊寿 久保 昌一 中橋 愛生 下野 竜也 天野 正道 星出 尚志 井芹 康貴 木村 圭太

- | | | | | |
|-------------------------------------|------------|--|--|--|
| 【教授】 小串 俊寿(サクソフォーン)
中橋 愛生(作曲/理論) | 久保 昌一(打楽器) | 【講師】 山内 豊瑞(フルート)
原 浩介(クラリネット)
石川 善男(ホルン)
川野 聡子(ユーフォニアム)
藤井 将矢(コントラバス)
海老沢 慶人(マーチング) | 堀口 憲一(オーボエ)
中川 日出鷹(ファゴット)
荻原 明(トランペット)
平子 ひさえ(打楽器)
小林 恵子(指揮)
松下 倫士(スコアリーディング) | 近藤 薫(クラリネット)
夢沼 雅紀(サクソフォーン)
渡邊 善行(トロンボーン)
坂本 雄希(打楽器)
横山 奏(指揮)
近藤 隆史(情報コンピュータミュージック) |
|-------------------------------------|------------|--|--|--|



音楽×ICTで未来を切り拓く、

先駆者を育てる。

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻

クラシックのみならずポップミュージックでも我が国トップの教育力をもつ東京音楽大学がつくった、音楽とICTを結合した専攻、それが「ミュージックビジネス・テクノロジー専攻」です。現在最前線で活躍するサウンドクリエイターをはじめ、ICT、エンターテインメント、音楽ホールなど関連企業のトップが加わり、音楽業界、ビジネス業界の最新事情を常にフォロー。「音楽×ICT」を身につけ、音楽制作の未来、エンターテインメントの未来、ビジネスの未来を拓く人材を育成します。

卒業後は音楽ビジネス業界はもちろん、さまざまな分野で活躍することが可能。従来の産業の枠組みを越えて新しい活動を発想できる起業家精神をも育みます。



主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
専攻科目	必修科目 コンピュータ基礎論 コンピュータ数学 ハードウェアおよびOS理論 プログラミング演習 デジタルクリエイション演習 WEBクリエイション演習 音楽基礎 DTM演習 ビジネス最前線	レコーディング・テクニック ネットワークとセキュリティとクラウド ミュージック・プログラミング演習 プログラミング演習 デジタルクリエイション総論 WEBクリエイション演習 音楽理論	AIとデータ処理 マネジメント LinuxとサーバOS プログラミング演習	データベース 音楽プロデュース演習 卒業プロジェクト 卒業研究
	選択必修科目 科学・音楽・社会	オフィススペシャリスト ゲーム制作 ビジネス最前線	アドバンス・コンピュータ・ミュージック演習 ゲーム制作 ビジネス最前線 情報処理総論	IOT プログラミング モバイルアプリケーション
外国語	英語コミュニケーション	—	—	—
教養科目	必修科目 教養演習	—	—	—

【選択科目】 ピアノ(副科)、和声、西洋音楽史概論、ポピュラー音楽史概論、音楽美学、世界音楽概論、日本伝統音楽 など

■音楽関連科目

クラシック、ポップス、民族音楽など、音楽大学ならではの多彩な科目がそろっており、音楽のセンスを磨きつつ、コンピュータを用いたサウンドテクニック、ミュージック・プログラミング、レコーディング・テクニック、楽曲制作などを段階的に学んでいきます。

■ICT関連科目

コンピュータの仕組みを初歩から学びます。プログラミングはPythonやC言語を中心にアプリケーション制作まで、また実社会で必要とされるAI、データベース、クラウド、ネットワーク技術も学修。さらにWebデザイン、ゲーム制作などさまざまなICT技術を体験しながら、基本情報技術者をはじめ資格取得レベルまで学ぶことができます。

■「ビジネス最前線」

最前線で活躍するICT、エンターテインメント、音楽ホールなどのトップによる、音楽業界・ビジネス業界の最新事情を学びます。

■MacBook等支給

ひとり1台支給されるMacBook等(Studio One Professional、Adobe Creative Cloud、Microsoft 365などの基本的なソフトを含む)を片手に、音楽制作、プログラミング、Web関連スキル、ICT技術などを学んでいきます。他大学に先駆けて商業音楽制作に進出した東京音楽大学だからこそ提供できる学修プログラムです。

※機種・付属ソフトは変更の可能性があります。

■卒業制作

コンピューター音楽とICT関連スキルを並行して学び、それを統合した創造物として卒業制作にチャレンジします。卒業制作は音楽作品からアプリ制作、ネットワーク構築までジャンルを問いません。

取得を目指す資格

- ITパスポート ●基本情報技術者試験 ●情報セキュリティマネジメント試験 ●マイクロソフト オフィス スペシャリスト ●JAVAプログラミング能力認定 ●CGクリエイター検定 ●ウェブデザイン技能検定 ●Webクリエイター能力認定試験 ●HTML5プロフェッショナル認定資格 ●Photoshopクリエイター能力認定試験 ●Illustratorクリエイター能力認定試験 ●アドビ認定エキスパート ほか

予想される進路

音楽とICTという組み合わせによって、音楽ビジネス業界はもちろん、さまざまな分野で活躍することが可能です。従来の産業の枠組みを越えて新しい活動を発想できる起業家精神をも育みます。

- 音楽関連企業・団体(マネジメントなどの音楽関連ビジネス) ●コンサートホールなど文化施設 ●音楽制作 ●メディア ●情報通信(プログラマー) ●システム管理運営者 ●システムエンジニア ●Webプログラマー ●Webデザイナー ●ゲームクリエイター ●ICT関連企業 ●ゲーム制作会社 ●サウンドクリエイター ●一般企業 ほか

担当教員

■専門科目関連

- 【特任教授】 柴山 拓郎
- 【准教授】 有馬 純寿 石川 洋光
- 【特任准教授】 柴田 良二
- 【専任講師】 土屋 真仁
- 【講師】 新井 聡真 石川 晃士郎 竹本 清香
- 【教授】 岡田 敦子(アドヴァイザー) 羽石 祐一
- 【客員教授】 渡辺 国彦(アドヴァイザー) ほか

■「ビジネス最前線」担当講師

- 【特任教授】 今井 雅則 大崎 洋 近藤 和行 齋藤 精一
- 平井 康文 福本 ともみ 星野 康二

■特別アドヴァイザー

- 鈴木 幸一

カリキュラム構成

全学必修の基礎教育科目「教養演習」

2023年度より入学初年次の全学必修科目として「教養演習」を実施しています。グループ演習形式で、テーマに関連した資料の検索からはじめ、研究の方法や方向性などを話し合い、口頭と紙面での発表を行うことにより、大学生活に必要なアカデミック・スキルを修得しつつ、課題解決のために必要な思考力・判断力・表現力を身につけることを目的としています。

学生の意欲と進路に合わせた外国語教育

2024年度より学生一人ひとりの学修意欲と進路に合わせるため、外国語科目の構成を見直しました。必修となっている英語のほか、ドイツ語、フランス語、イタリア語について、留学を目指して徹底的に学ぶコースから各外国語に親しむコースまで、段階的な構成をとっています。

専攻科目

質の高い専門教育を実施し、高度な能力をもつ音楽人を養成するため、一流の教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実に力を入れています。科目名は各専攻・コースのページをご覧ください。

専門共通科目

所属する専攻に関わらず履修することができる選択科目です。専攻の枠を越えた音楽的素養を身につけ、その幅を広げます。

*履修条件が付されている科目や、一部の専攻では履修できない科目があります

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 副科実技(ピアノ、声楽、チェンバロ、フォルテピアノ) ■ 独唱及び合唱 ■ 室内楽 ■ 作曲法 ■ 指揮法 ■ 指揮・管弦楽コミュニケーション演習 ■ ソルフェージュ ■ 和声 ■ 和声分析 ■ 対位法概論 ■ 西洋音楽史概論 ■ 歌曲史 ■ オペラ史 ■ ピアノ音楽史 ■ 管弦楽曲史 ■ 吹奏楽史 ■ ポピュラー音楽史概論 ■ 楽譜学 ■ 音楽分析学 ■ 音楽美学 ■ 古典概論 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 世界音楽概論 ■ 日本音楽史概論 ■ 日本伝統音楽A(歌唱) ■ 日本伝統音楽B(和楽器) ■ ガムラン実習 ■ マルチメディア演習 ■ ミュージック・ビジネス概論 ■ 音楽キャリア実習 ■ ミュージック・コミュニケーション講座 ■ 指導者養成管弦楽 ■ 指導者養成吹奏楽 ■ 合唱 ■ ピアノ作品解釈とキャリア研究 ■ 通奏低音奏法 ■ 古楽合奏 ■ 管打指導法 ■ スタジオエレクトロニクス ■ 音楽と歴史 ■ 音楽と社会 ■ 音楽と価値 ■ 音楽と文化 ■ 音楽とメディア | <ul style="list-style-type: none"> ■ 音楽とマネジメント ■ 世界音楽と音楽世界 ■ コミュニティと音楽 ■ 伝統と現代 ■ 音楽教育学の基礎 ■ 音楽の比較教育 ■ 音楽の指導論 ■ ミュージックパフォーマンス ■ 音楽教育学外実習 ■ リベラルアーツA～J ■ ビジネス最前線 |
|---|--|---|



「ガムラン実習」
インドネシアの伝統芸能であるガムランの演奏・舞踊を本格的に学ぶことができます。

基礎教育科目

音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

- | | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ ドイツ語歌詞研究 ■ 音楽文献研究(ドイツ語) ■ イタリア語歌詞研究 ■ 音楽文献研究(フランス語) ■ 英語 ■ ドイツ語 ■ フランス語 ■ イタリア語 | <ul style="list-style-type: none"> ■ スペイン語 ■ ロシア語 ■ 中国語 ■ ラテン語 ■ 心理学 ■ 宗教学 ■ 哲学 ■ 倫理学 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 応用倫理学 ■ 日本史 ■ 西洋史 ■ 東洋史 ■ 日本文化論 ■ 西洋文化論 ■ 東洋文化論 ■ 環境と経済 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 現代社会と法 ■ 憲法 ■ 数学 ■ 宇宙科学 ■ 自然科学 ■ 日本語表現法 ■ 健康・スポーツ科学理論 ■ スポーツ科学実技 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 音声学 ■ 音楽療法 ■ メディア論 ■ キャリアデザイン論 ■ 音楽文化環境論 ■ 情報メディア |
|--|---|--|---|--|

特別実技科目

別途受講料を支払うことにより、実技科目を履修することができます。

①音楽実技I～VII
対象：音楽文化教育専攻(卒業要件内)
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻(卒業要件外)

②第2副科実技
対象：全学年・全専攻(卒業要件外)



ジャズ



邦楽

他大学との単位互換制度

東京音楽大学では、相互に教育内容の充実を図り、交流を深め、多様な価値観に基づく学修機会を提供することを目的に、2010年度より上智大学と単位互換型の学生交流制度を設けています。2年次以上の全専攻の学生を対象に、上智大学の500以上の講座から受講が可能です。また、2020年度より聖心女子大学、2021年度より放送大学、2023年度より東京電機大学理工学部(作曲「芸術音楽コース」「ミュージック・メディアコース」のみ)と単位互換制度を開始しました。4大学で修得した単位は本学の単位として認定されます。



上智大学

教育方針

ディプロマポリシー

卒業認定・学位授与の方針

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

カリキュラムポリシー

教育課程編成・実施の方針

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を広げ、さらに基礎教育科目で国際人としての広い教養を身につけることにより、音楽を土台として現代社会のさまざまな局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

アドミッションポリシー

入学受入れの方針

大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式をとらせる力、楽典の知識が一定のレベルに達していることが重要です。音楽の学習には外国語も必要です。専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

講座Pick Up

指揮・管弦楽コミュニケーション演習(「実践レッスン」)

指揮専攻生のレッスンに器楽の学生有志がオーケストラを編成して参加。国内外で活躍する演奏家や音楽専門家を特別アドバイザーにむかえることで、忌憚のない現場の生の声を聞く機会ともなっています。教員と学生、専攻や学年の垣根を越えて全員が主体的に参加する本学ならではのアクティブラーニングです。



担当教員

ソルフェージュ

- 【教授】 岡島礼
藤原豊
【客員教授】 榎場 富美子
【特任教授】 日野原 秀彦
【准教授】 荒尾 岳児
植田 彰
山洞 智
【講師】 伊左治 直
石川 薫
久保 哲朗
河野 泰子
國分 正頼
小林 弘人
嶋田 留美
田中 翔一朗
藤原 亜美
山田 武彦

外国語

- 英語
【准教授】 早坂 敦子
【講師】 アダム マーフィ
鴨下 恵子
崎谷 葉穂子
スティーブン 孝之 シャレット
山下 馨
湯山 恵子
■ ドイツ語
【客員教授】 渡辺 国彦
【講師】 石原 竹彦
金子 みゆき
岸 エヴェリン
南 はるつ
リタ プリール
■ フランス語
【講師】 白石 嘉治
土屋 良二
ローベル ロラン マックス
市橋 明典

イタリア語

- 【講師】 石井 沙和
清水 英夫
鈴木 マリア
マリアンジェラ ラーゴ
真弓 めぐみ
森田 学
■ スペイン語
【講師】 バブロ モンレアル カンブマニ
■ ロシア語
【講師】 浜野 アーラ
■ 中国語
【講師】 陸 越
■ ラテン語
【講師】 友井 太郎
■ 日本語
【准教授】 石田 恵里子

教養教育

- 【教授】 豊永 聡美 羽石 祐一
【特任教授】 佐々木 亮 佐野 知子
渡邊 迅
【准教授】 岡部 英男 寺島 伸一
【講師】 新井 聡真 市瀬 陽子
宇澤 とも子 岡田 誠
沖山 延史 国分 峰樹
ダイアナ ツルダ 田熊 敬之
平田 紀子 丸山 慎
宮越 俊光 村澤 慶昭
山田 香里 山本 みどり

ガムラン

- 【講師】 木村 佳代 針生 すぐり
樋口 文子

ジャズ

- 【教授】 リック オヴァトン

三味線(長唄)

- 【講師】 杉浦 孝夫 菊地 大

箏(生田流)

- 【特任教授】 滝田 美智子
【特任准教授】 内藤 久子

琵琶(薩摩)

- 【講師】 首藤 久美子

尺八(琴古流)

- 【講師】 柿塚 香

電子オルガン

- 【講師】 小林 由佳

フォルテピアノ

- 【講師】 小倉 貴久子

リコーダー

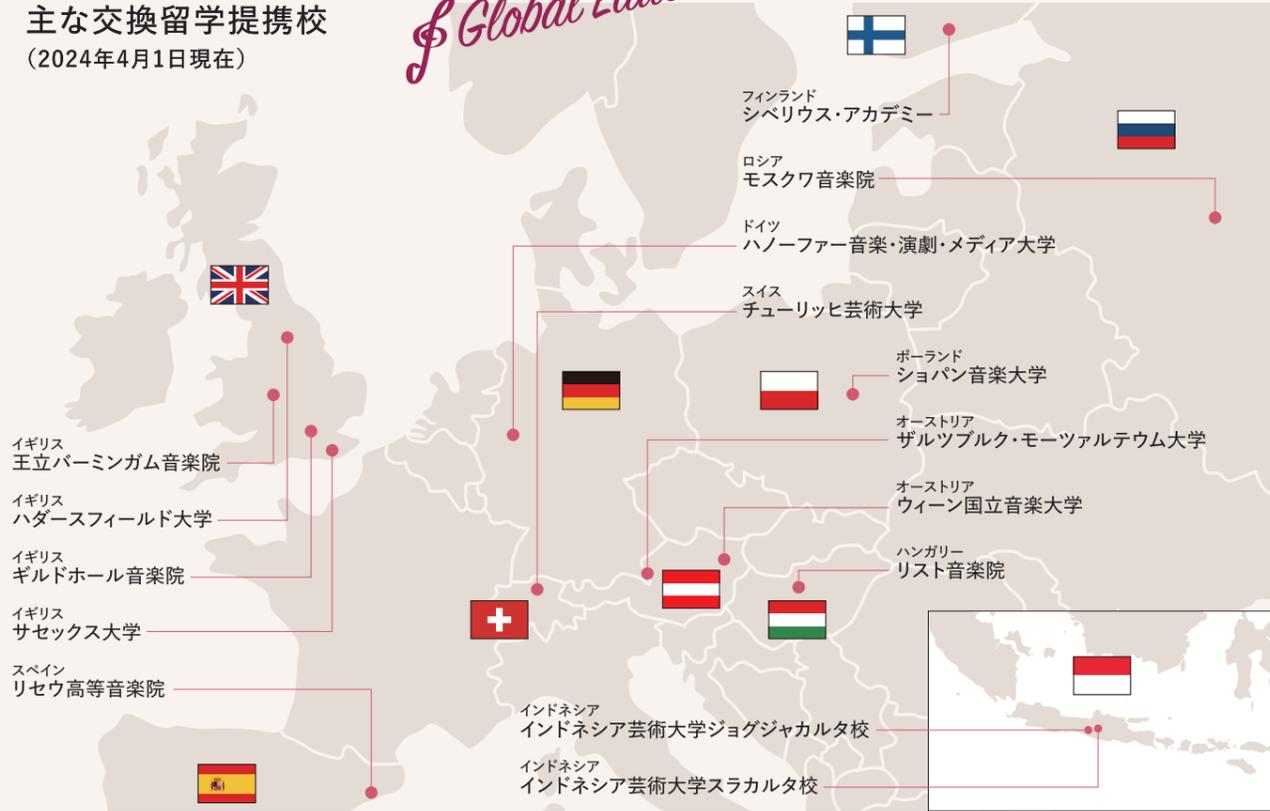
- 【講師】 吉澤 徹

リュート

- 【講師】 水戸 茂雄

主な交換留学提携校
(2024年4月1日現在)

Global Education



TCMで国際性を身につける

「音楽は国境を越える」を信念に、グローバル時代に対応する人材を育成するため、本学ではさまざまな交流プログラムを用意しています。ヨーロッパの名門音楽大学と提携を結び、毎年交換留学や教授陣の招聘を行っています。研修旅行では協定校でレッスンを受講、演奏会を行っています。バイエルン州立青少年オーケストラと提携し、ドイツ・イタリアで行われる合宿と演奏旅行に学生を派遣しています。近年は、イギリスのサセックス大学や、ハダースフィールド大学などトップレベルの総合大学にも正規留学生を送り出しているほか、アジアにおける音楽文化の興隆を受け、中国、韓国、インドネシア、台湾、ブータンの音楽大学と交歓演奏会やイベントなど活発な交流を行っています。

東京音楽大学協定校一覧	
イギリス	ギルドホール音楽院
イギリス	バーミンガム音楽院
イギリス	ハダースフィールド大学
イギリス	サセックス大学
スペイン	リセウ音楽院
ハンガリー	リスト音楽院
オーストリア	ザルツブルク・モーツァルテウム大学
オーストリア	ウィーン国立音楽大学
ドイツ	ハノーファー音楽・演劇・メディア大学
スイス	チューリッヒ芸術大学
ロシア	モスクワ音楽院
ポーランド	ショパン音楽大学
フィンランド	シベリウス・アカデミー
インドネシア	インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校
インドネシア	インドネシア芸術大学スラカルタ校



ヨーロッパ研修旅行
(2024/3/17~24)



ウェストモント大学・東京音楽大学 交流合唱演奏会
(2023/5/16)



Exchange Student Concert /
交換留学生コンサートシリーズ 交流演奏会 (2023/11/30)



Japanese Music Friendship Concert
~交換留学生と仲間たち~ (2023/7/25)



ワールドユースオーケストラ参加
(2024/3/30~4/11)

ハノーファー音楽・
演劇・メディア大学に
短期留学



新井 美加

2024年大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域(ピアノ)修了
2022年大学卒業 ピアノ演奏家コース(埼玉県立芸術総合高等学校)

音楽とあらためて真剣に向き合うきっかけとなった留学期間でした。はじめはひとりで不安なこともありましたが、先生方や現地の方々のサポートのおかげで音楽の勉強に専念することができ、有意義な時間を過ごすことができました。留学先では4人の先生にご指導いただき、毎回のレッスンで新たな気づきや発見がありました。先生方の熱心なご指導のおかげで音楽に対する考え方や表現の幅が広がり、クラシック音楽がより好きになりました。また、さまざまな国籍の学生が集まる試演会や、ホールで演奏する機会を何度かいただき、現地の学生からたくさんの刺激を受けました。すばらしい環境の中で音楽に没頭できた期間は、私の音楽人生の中で貴重な経験となりました。

「バイエルン青少年
オーケストラ合宿・演奏会」
プログラムに参加



川井 愛永

ヴァイオリン
2023年大学卒業(東京音楽大学付属高等学校卒業)

卒業目前のバイエルン青少年オーケストラ参加でしたが、私にとって夢のような2週間でした。出発2週間前に卒業試験を終え準備も十分とは言えない中の旅立ちでしたが、一緒に参加した仲間やドイツのあたたかい方々にたくさん助けられ支え合って生きていることを切に感じました。毎日違うホールに移動して同じプログラムを演奏するという貴重な体験をさせていただきました。同じ演目の演奏会とは思えないくらい毎回違った緊張感、「昨日よりも、よりよい演奏を」という全員の強い気持ちがありました。一瞬一瞬を全力で楽しんでいる様子、自由にのびのびと音を楽しめる環境を日本でもつくりたいと思いました。

認定交換留学制度を利用し
サセックス大学に正規留学



佐々木 佑紀

ミュージック・リベラルアーツ専攻
2021年大学卒業(青山学院系属 浦和ルーテル学院高等学校卒業)

音楽大学で音楽を真剣に学びながら、海外の総合大学で視野の広い学びを本気でしたいと思い、はじめから留学するつもりでミュージック・リベラルアーツ専攻を選びました。留学中の学費免除と単位認定制度は、留学に踏み込む大きな利点でした。世界中から集まった学生と共に音響サウンドデザイン、国際マーケティング、心理学やビジネス学などを勉強しながら深夜練習室でヴァイオリンを練習した経験は、多領域の経験を組み合わせる将来に活かすためには必要不可欠でした。東京音楽大学とサセックス大学での学びはロンドンでの就職とその後の目標につながる大きな一歩となり、人生の中でも収穫の多い経験でした。

マスタークラス

世界で活躍する演奏家や教授からの直接指導

本学の大きな特徴として、国内外の招聘音楽家によるマスタークラスが挙げられます。キャンパス内で世界のトップレベルの演奏家や教授のレッスンを受けることができ、このような機会をステップにして留学する学生や、コンクールで優秀な成績を収める学生も多く、将来の夢に近づく一助になっています。



エリソ・ヴィルサーゼ氏 ミニコンサート&ピアノマスタークラス
(2023/6/7)



フランツ・シンドルベック氏 打楽器公開レッスン
(2023/11/24)



ボリス・ベルキン氏 指揮マスタークラス
(2024/4/22)



世界的に有名な先生の特別レッスンが、一生の財産に。

佐川 和冴

2021年大学卒業 2023年大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域(ピアノ)修了 大学院研究生
(東京音楽大学付属高等学校卒業)

ミシェル・ペロフ先生は世界中の優秀な生徒を指導されてきたすばらしい先生であることを存じ上げていたので、レッスンを受けられたことは大きな財産となりました。はじめて自分の演奏を聴いて、はじめて自分のことを知ってくれた先生からのアドバイスはとても新鮮で、弾き慣れていた曲を演奏した際に、自分の中の音楽作りとは全然違うフレーズやラインを見つけてアドバイスをしてくださり、いざ演奏してみると曲のよさがより伝わるように変化し、大きな成長を感じました。世界的なピアニストや演奏家の特別レッスンを受けられるマスタークラスは、ピアニストを目指す学生として一番ためになる授業でした。あこがれの人に聴いてもらうことは緊張感がありますがワクワクもする、なかなか経験できないことだと思います。



Teacher Training

教育現場で役立つ実践的カリキュラムで、課題に取り組む

教職課程において、法律に定められた所定の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。本学では、教育職員免許状を取得した後に大事な「人間性や社会性」を培う場としての教育を行っています。今後も講座内容を充実させるとともに、きめ細かな指導を通して、実際の教育現場で活躍できる音楽教師を育成していきます。履修にあたっては、次のような教員となるべく明確な目標意識をもつよう指導しています。

【育成する教員像】

- 教師として使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任をもつ。
- 教師として確かな力量を備え、常に学習する意欲をもつ。
- 教師として豊かな人間性や社会性、人格的資質をもつ。

取得できる免許状

- 中学校教諭一種免許状 (音楽)
- 高等学校教諭一種免許状 (音楽)
- 小学校教諭二種免許状 (明星大学通信教育部との教育業務提携による免許状取得)

教職に関する科目・講座

模擬授業を行う「音楽科指導法」「教職実践演習」など、実際の教育現場を意識した授業内容となっています。また、就職支援プログラムとして教員採用試験に必要な面接や小論文対策を行う「教員養成講座」を実施しています。

【必修科目】

教職論 教育原理 教育心理 特別支援教育概論
教育経営論 教育課程概論
教育の方法と技術(情報通信技術の活用含む)
音楽科指導法 道徳教育指導論
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論
教育相談概論 教職実践演習(中・高) 教育実習

【選択科目】

教職課程管弦楽 教職課程吹奏楽
合奏 ピアノ演習

2024年 教員新規採用者数

	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	他 県	合計
公立	9名	6名	2名	1名	4名	22名
私立	4名	1名	1名	1名	1名	8名

卒業生の約2名に1名が教育職員免許状を取得

※埼玉県私立に幼稚園教諭1名、東京都私立にインターナショナルスクール1名を含む ※2023年度卒業生



西田 梨央

浦安市立入船小学校 教諭
ピアノ/ 2021年大学卒業

教職課程では、音楽教育に関する専門的な知識を、教職課程吹奏楽では、音楽の楽しさと吹奏楽についての知識を深めることができました。先生方は親身になって相談のしてくださる素晴らしい先生ばかりで、安心して勉強に励めました。私も児童に信頼される教員になりたいと、児童の気持ちに沿った言葉がけを心がけています。教員は、未来を創る児童の教育に関わる仕事。指導したことに反応しようと一生懸命取り組む児童の姿を見ると、教員としてのやりがいや存在意義を感じます。音大での経験は、社会に出て自分を支えてくれる武器になります。地道な実技の練習によって培われた集中力や忍耐力、厳しいレッスンで鍛えられた精神力は、教員に関わらずどんな仕事でも役に立つと思います。

安田(橋本) 果音

千葉市立千城台西中学校 教諭
ピアノ/ 2019年大学卒業

中学生の頃から夢だった教職の仕事に就きたくて、教職課程が充実している音楽大学を探しました。その中で、多くのことに挑戦させてくれる東京音楽大学を魅力的に思い進学を決めました。付属高校では専攻科目のほかに吹奏楽の授業を受け、大学では教職課程と第2副科を履修するなど、さまざまなことに挑戦しました。また、「教職特別演習[※]」も履修しました。この講座には本気で教員採用試験に挑む仲間が多くいるため、面接練習を中心に採用試験に必要な勉強を皆で切磋琢磨しながら学びました。試験勉強と実技の練習が忙しく、前向きな気持ちだけでは取り組めない時も、ライバルであり、大切な仲間でもある皆のおかげで乗り越えることができました。ぜひ履修してほしい講座のひとつです。

今川 雪菜

東京都立総合芸術高等学校 教諭
ピアノ/ 2020年大学卒業

私が教員という進路を意識しはじめた時は、「子どもの変容を感じられる仕事って楽しそう」というあこがれの気持ちだけでした。しかし、授業で先生方の経験をうかがい、模擬授業の実践、事例をもとに考える生徒との関わり、先輩方の教員採用試験に向けた取り組みなどの話を聞くうちに、教員になることへの覚悟や経験不足を痛感して、いつの間にかピアノと同じくらいめり込んで勉強するようになりました。そして、誰よりも楽しんでいたいと思います。「教職特別演習[※]」がとても印象に残っています。温かく私たちを鼓舞してくださった先生、先輩方が受験して得た感覚から作成された専門教養の資料、本番の空気を味わえる面接練習など、心構えから実践の場まで環境を整えてくださった先生方に深く感謝しています。

※2022年度より「教員養成講座」

講座Pick Up



教職課程管弦楽・吹奏楽

毎年多くの学生が履修する、本学独自の科目です。最大の特長は「自分の専攻以外の楽器」を体験できること。苦勞しながら合奏を経験することで、はじめての楽器を前にして上手に演奏できない子どもの気持ちを理解し、さらにはアンサンブルのよるこびとともに団体行動における指導方法まで学べます。合奏では各パートの教員が隣と一緒に演奏するため、「本物の音」を知る経験が得られます。実際に教壇に立った時、また、部活動で教える際にも生きてくる有意義な授業です。

Pick Up

教員養成講座

教員を目指す2年次から4年次の学生を対象に、就職支援プログラムのひとつとして「教員養成講座」を開講しています。この講座では、教員採用試験の「教職教養」「専門教養」の筆記試験対策のほか、「論作文試験」「面接試験」の対策ができる内容となっています。

担当教員

教職

- | | |
|-------------------------|---|
| 【教授】 白倉孝弘 和田 崇 | 【講師】 荒井 智子 [※] 宇澤 とも子 大橋 永児 大平 紹美 [※] |
| 【客員教授】 関本 恵一 | 齋藤 博志 橋本 絵里子 升谷 直嗣 [※] 森岡 耕平 |
| 【特任教授】 工藤 豊太 | 吉澤 徹 吉原 ちより |
| 【准教授】 伊藤 民子 小熊 利明 矢田 訓子 | 【助教】 河上 隆介 [※] |

※ 教職オーケストラ

音楽と社会をつなぐ力をつける

§ Career Education

ACTプロジェクト



アートマネジメントを学ぶ

学内外で行われるコンサートの企画・制作・広報を実践する「学生による音楽事務所」で、アートマネジメントの仕事を学年や専攻を越えたチームで実体験できます。活動にあたっては、複数の教職員が協働して指導・サポートするのが特徴で、企画力、コミュニケーション能力、リーダーシップやプレゼンテーションのスキルが養われます。

演奏にも通ずる
コンサートマネジメント。

高田 そよか ACTプロジェクト助手
ピアノ演奏家コース 2024年大学卒業(北鎌倉女子学園高等学校卒業)

私は学部1年生から卒業するまでACTプロジェクトでの活動を継続して行ってきました。コンサートマネジメントを学ぶことは、演奏とも共通するところがありとても有益な時間でした。企画を考える上で、どのように工夫をしたら聴き手に意図を伝えられるのかをアドバイザーの先生方や先輩に丁寧に教えていただき、1年間で企画制作の根本を学ぶことができました。また、学内公演だけではなく、ホールから委託されて企画を立案する機会もあるので、クライアントとのやりとりを通してメールの書き方や本番までの段取りなどを実践的に学ぶことができます。ACTプロジェクトで得たスキルは、卒業した今、まさにこれからの生活に大いに生きていくと思います。

ACTでの活動が
今いる場所へと繋がった。

庭野 汐音 四季株式会社 音響・音楽部 音響
器楽専攻ピアノ 2024年大学卒業

私にとってACTプロジェクトは、学年・専攻を超えた仲間やアドバイザーの方々、学外の音楽関係の方々とお出会うことのできた大切な場所です。演奏会の企画立案から当日の運営まで、すべての作業を経験する中で、できる作業が増える自信が付き、経験のないことにも挑戦できるようになりました。また演奏者としてだけではなく、裏方としての活動を通して、自分自身がどのように音楽と関わりたいのか見つけなおす貴重な時間となりました。私は活動の中で、演奏者を支えることへのやりがいを感じ、現在の就職先へつながりました。ACTプロジェクトでの活動があったからこそ、音響という新たな道に自信を持って歩み出すことができましたと感じています。

神戸女学院大学音楽学部との連携講座 ミュージック・コミュニケーション講座



教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学ぶ

神戸女学院大学音楽学部と共通科目を設け、インターネット配信による同時中継授業を通じて、教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学びます。連携講座では、音楽がもっている楽しさや、人と人をつなぐ力に目を向け、多様なニーズに応える音楽プログラムを企画・実践していくことのできる人材の養成を目指しています。

講座Pick Up

キャリアデザイン論

担当教員 山本 みどり

「キャリアデザイン論」では、自身と自身を取り巻く社会の状況を理解し、将来に向かい、これからの大学生活をどのように過ごしていくか明確にすることをねらいとしています。学生の皆さんの「これまで・今・これから」を整理しながら、プレゼンテーションやワークショップを通し、自己と向き合い「自身の強み」を明確にして「やりたいこと」を「できること」にし、将来につなげていきます。毎回の課題の中で、自分自身について具体的な言語化を行い、社会や雇用の変化を理解してもらっています。音楽を中心としながらも、世の中を広く深く見詰め社会的視野を養うことで、自身の描くキャリアに向け、自らが具体的な行動を起こせるような講座内容を構成しています。

一人ひとりに寄り添う相談・指導で進路を拓く

§ Career Support

音楽大学で学ぶ学生は、レッスンやアンサンブルなどを通して、「獨創性」「協調性」「主体性」を身につけています。これらは企業が採用に際して強く学生に求める資質であり、本学の卒業生を採用した企業からも高く評価されています。本学では就活対策講座として、企業研究、面接対策など、就職に役立つ実践的な指導を行っています。



就職支援プログラム

進路決定をする上でニーズの多い情報やアドバイスが、必要な場面で提供できるようにプログラムを準備しています。各種プログラムは主に3・4年生を対象としていますが、1・2年生で関心のある学生も参加できます。

就職ガイダンス

就職活動をはじめるときのあたり、どのような流れで選考が行われるのか、そのためにはどんな準備が必要なのかを説明します。また、それらの対策に適したキャリア支援センターの活用方法や各種セミナーも紹介します。

先輩の就活を聞く会

就職活動を終えたばかりの先輩たちから、直接就職活動について話を聞くことができる機会です。実際にどのような面接だったか、選考で苦労したことや内定先を志望した理由などを聞くことができます。

インターンシップガイダンス

就職活動が早期化する傾向にあり、早いうちからインターンシップに関心がある学生も多くいます。インターンシップに参加する目的や心構え、注意点について説明します。インターンシップをはじめたい方であれば参加学年は問いません。

個別面談

進路は人それぞれであり、就職活動中はその時期によって悩みの内容も変わってきます。キャリアカウンセリングの資格を持ったスタッフが対応し、どのように行動していけばよいか一緒に考えます。

業界研究セミナー

企業の人事担当者に登壇いただき、業界の特徴や、その企業を例とした業務内容、職種、選考についてお話をうかがいます。本学卒業生の採用実績がある企業を中心に、音楽関係にとどまらず幅広い業界の企業と接点をもつことができます。

各種グループワーク・講座

「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」の作成講座、「グループディスカッション体験」など、少人数で意見を交換しながら進めていきます。他者に説明したり、言語化していく中で、無自覚だったことを意識化することができます。

音楽活動・音楽業界志望者向け講座

フリーランスとして演奏家を希望する方向けの「確定申告講座」や「インボイス講座」などを開催しています。



先輩の就活を聞く会

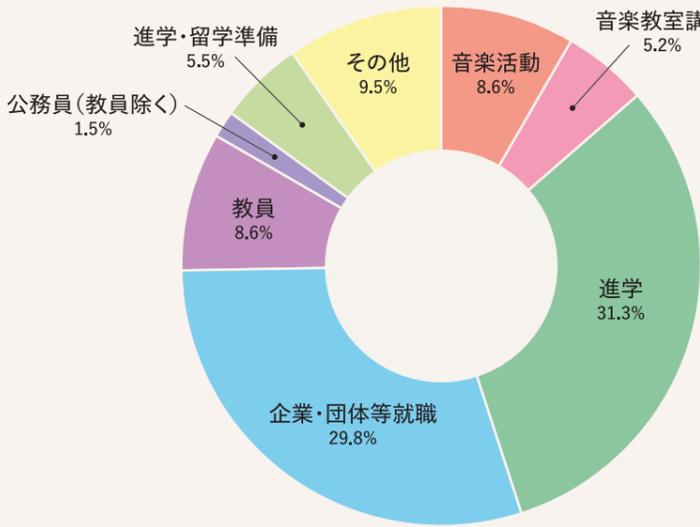


グループディスカッション体験



キャリア支援室

卒業生の進路 (2024年3月 学部卒業生)



■ 進学

東京音楽大学大学院
TCMオーケストラ・アカデミー
東京藝術大学大学院
昭和音楽大学大学院
桐朋学園大学研究生
国立音楽大学ディプロマ・コース
新国立劇場オペラ研修所
日本オペラ振興会オペラ歌手育成部
ブリュッセル王立音楽院
愛知教育大学教職大学院
リスト音楽院
パレンボイム・サイド・アカデミー
ほか

■ 公務員

航空自衛隊音楽隊
陸上自衛隊音楽隊
東京都
松戸市役所

■ 音楽教室講師

ヤマハ音楽教室
カワイ音楽教室
島村楽器
ほか

■ 教員

※P32参照

就職率
96.1%

※就職希望者に占める就職者の割合

企業・団体など (2024年3月 学部卒業生)

【建設】

五洋建設株式会社
日比谷総合設備株式会社

【運輸・郵便】

株式会社上組
日本航空株式会社

【製造】

スタンレー電気株式会社
株式会社河合楽器製作所
任天堂株式会社

【卸売】

エノテカ株式会社
ロクシタンジャパン株式会社
大丸株式会社

【情報通信】

NSSLCサービス株式会社
マンパワーグループ株式会社
横河レンタ・リース株式会社
株式会社MCデータプラス
株式会社NTT東日本・南関東
株式会社イープラス
株式会社コーエーテックモゲームス

【小売】

株式会社ソフ
株式会社マルエツ
株式会社三越伊勢丹
島村楽器株式会社

【金融】

株式会社クレディセゾン
株式会社みずほ銀行

株式会社大分銀行
中央労働金庫
東京東信用金庫

【専門・技術サービス】

KPMG税理士法人
PwCコンサルティング合同会社

【宿泊・飲食サービス】

ダイワロイネットホテルズ株式会社
株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション
株式会社東武ホテルマネジメント
東急リゾーツ&ステイ株式会社

【生活関連サービス、娯楽】

T-LIFEホールディングス株式会社
株式会社KAJIMOTO
四季株式会社

【教育、学習支援】

デジタルハリウッド株式会社

【サービス】

Geeklys合同会社
エン・ジャパン株式会社
株式会社サンリオ
株式会社ワールドインテック
電音エンジニアリング株式会社

【法人】

公益財団法人としま未来文化財団
日本年金機構

ほか

演奏団体 (卒業生のこれまでの主な進路実績)

NHK交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京ニューシティ管弦楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
読売日本交響楽団
札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団

名古屋フィルハーモニー交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団
千葉交響楽団
富士山静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
東京佼成ウインドオーケストラ
シエナ・ウインド・オーケストラ
東京吹奏楽団
自衛隊音楽隊
警察音楽隊
東京消防庁音楽隊

劇団四季
シカゴ交響楽団
クリーヴランド管弦楽団
ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団
南西ドイツ放送交響楽団
ノールショピング交響楽団
ブルノ国立フィルハーモニー管弦楽団
ドルトムント・フィルハーモニー管弦楽団
マインツ・フィルハーモニー管弦楽団
ハイデルベルク・フィルハーモニー交響楽団
ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団
リスボン・メトロポリタン管弦楽団
シンガポール交響楽団
台湾国家交響楽団
マリンスキー歌劇場管弦楽団
ベルギー王立歌劇場管弦楽団
レーゲンスブルク歌劇場管弦楽団

ほか

卒業生からのメッセージ 企業・団体



可能性を狭めることなく自由に音楽を学べる場所。

宮内 琴乃

日本航空株式会社 客室乗務職
ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ) 2024年大学卒業(静岡県立浜松西高等学校卒業)

大好きなピアノを深く学びたい気持ちを抱き入学し、実り多き4年間を過ごしました。特にMLA専攻での幅広い学びは、将来を考える上で大きな影響に。個性あふれる仲間と音楽にとどまらず多角的な視点で英語や教養を学んだことで、就職活動の際も広い視野で異なる業界に挑戦できました。日々の練習で身につけた努力する姿勢や、コンサート運営などで学んだチームワーク力など、音楽を通して得た力は今後の仕事にも生かすことができると考えています。東京音楽大学は将来の可能性を狭めることなく、自由に音楽を学ぶことができる場所。ぜひ大好きな音楽を存分に修得しながら、将来やりたいことを模索してみてください。



充実した環境で、広く深い音楽の世界を知る。

河合 俊作

株式会社コーエーテックモゲームス サウンドクリエイター
作曲「映画・放送音楽コース」 2024年大学卒業(愛知高等学校卒業)

東京音楽大学の映画・放送音楽コース*生として4年間過ごした日々は、非常に充実したものでした。音楽界の最前線で活躍される素晴らしい先生方のご指導や、自分にはない音楽性をもつ仲間たちに恵まれて、音楽的にも精神的にも成長することができました。キャリア支援センターで就職の相談をした際には、エントリーシートの作成アドバイスや面接練習などさまざまなサポートを受けることができ、とても心強かったです。この大学で、一人では到底勉強することができなかった広く深い音楽の世界を知ることができました。4年間音楽に集中できる環境はかけがえのないものです。どうぞ自分の好きな音楽を探究し極めてください。

*現・作曲「ミュージック・メディアコース」

卒業生からのメッセージ 演奏団体

大学で経験できることに無駄なことはない。



谷崎 大起

日本フィルハーモニー交響楽団
2019年大学院修士課程器楽専攻弦楽器研究領域修士
ヴァイオリン 2017年大学卒業
(北海道札幌国際情報高等学校卒業)

僕は音楽高校出身ではなく、オーケストラでの初の演奏体験は大学入学後でした。東京音楽大学には学生が参加できるオーケストラの機会が多く、「授業オケ」はもちろん、芸術祭の「特別オケ」、学生主催の「有志オケ」、作曲科の卒業制作のためのオケなど、在学中にたくさんのオーケストラに参加してきました。多い時は月に6回演奏会なんてことも。主要なオーケストラ曲のほとんどを経験できました。オーケストラ・弦楽合奏の授業では、大人気で演奏する時の極意を経験豊富な先生方から学び、そこでつかんだ音量や音色のバランス感覚は、自分の演奏の軸になっています。またプロセスを大事にした実技レッスンは、自分の成長に必要な不可欠でした。大学で経験できることに無駄なことはないと常々思います。

志の高い仲間と素晴らしい先生方と。



牧 優吾

陸上自衛隊 中央音楽隊
チューバ 2021年大学卒業
(山梨県立甲府第一高等学校卒業)

吹奏楽やオーケストラなど、合奏系の授業は一番力を入れて取り組みました。特にAプラス(「吹奏楽」授業の3・4年次)では、指導者実習という時間に普段することができない指揮にもチャレンジすることができ、音楽をつくる上での視野が一気に広がる貴重な機会になりました。東京音楽大学の魅力は素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃるのと、志の高い仲間が多いことだと思います。目から鱗のアドバイスや、モチベーションが高まる刺激を先生方からはもちろん、先輩・同輩・後輩からもたくさんもらえます。今は陸上自衛隊の音楽隊員として活動しており、いい音楽をすることで、「音楽」と聴いてくれる人に恩(音)を返していくことが一番幸せなことだと考えています。

今、できることを最大限に。



矢澤 遼

新国立劇場オペラ研修所 第27期生
声楽特別演奏家コース 2024年大学卒業
(埼玉県立不動岡高等学校卒業)

2年次からはじまる特別実習の授業では、第一線で活躍する演出の先生やコレペティートルの先生方から活きた音楽を得ることができます。「演技の実験場」が用意され、そこに積極的に参加するため、毎週の準備を重ね、新しい表現に挑戦しました。個人レッスンでは本学の特色のひとつであるダブルレッスン制度を利用し、多方面からのご指導を得ることができました。また、学生には年間を通して幅広い演奏機会が数多く提供されています。声楽はもとより、作曲・指揮などの先生方からも指導を受け、他専攻の友人とも意見交換をしながら、ステージ経験が積めました。このような本学での学びが「新国立劇場オペラ研修所」という次なるステップにつながったのだと思います。

東京音楽大学は、あなたの努力を応援します。

奨学金

東京音楽大学奨学金(返済義務なし)

本学では各種奨学金制度を用意しています。

2024年度は、特別特待奨学生7名、給費奨学生47名にそれぞれ支給されました。

- 1 特別特待奨学生**
全学費または理事会の決定による額を免除
- 2 給費奨学金**
年額100万円～30万円
- 3 入学奨学金**
入学金に相当する額を奨学金として給付
- 4 家計急変者奨学金**
授業料の全額もしくは一部を給付
- 5 短期留学奨学金**
航空運賃・宿泊費・学費の補助
- 6 大規模自然災害罹災学生授業料減免**
被災状況により、授業料の全額または一部免除
- 7 同一生計の複数就学者授業料減免**
授業料の20%を減免



詳しくはホームページをご覧ください。

その他の奨学金など

青山音楽財団、瀬木博尚記念芸術文化振興会、戸田育英財団、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、山田貞夫音楽財団、よんでん文化振興財団などの民間財団が事業主体の奨学金があります。

また、人物・成績が優れ、経済的理由により就学が困難な学生に対しては、日本学生支援機構、地方公共団体・民間育英事業団体(貸与)などの奨学事業を紹介しています。詳細は学生支援課までお問い合わせください。

認定留学制度

- 留学中は本学および留学先教育機関への学費の二重の負担が発生しない制度を設けています。
- 1年間(2セメスター)までの留学期間中に海外で修得した単位は、審査の上、本学の単位として認定され、4年間での卒業が可能です。
- 留学に際して、安心できる留学先の選定、出願をはじめ、各種手続きなど、大学がきめ細かくサポートをします。

早期卒業制度

東京音楽大学は入学後3年間で卒業できる早期卒業制度を導入しています。器楽専攻の学生を対象として学部3年以上在籍し、専攻実技が極めて優秀であり、本学が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間の在籍で卒業ができます。

学費 参考:2024年度

	入学金(※1)	授業料(※2)	施設等維持費(※3)	合計
春学期	300,000	743,500	262,500	1,306,000
秋学期	—	743,500	262,500	1,006,000

※1 付属高等学校からの1年次進学者 150,000円
 ※2 作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」の授業料は、春・秋学期ともに788,500円
 ※2 音楽文化教育専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻の授業料は、春・秋学期ともに543,500円
 ※3 2年次より、春・秋学期ともに267,500円
 ※学費以外に後援会費(毎年)、入会金(入学時)が必要です。

TCM学生寮

「TCM学生寮」(女子寮)は、実家を離れて暮らす学生の生活および学びの環境を充実させることを目的として、2022年4月に池袋キャンパス敷地内に新たに開寮しました。

地上5階建て、124の全個室にWi-Fiを完備し、全室オートロックを導入するなど、セキュリティも充実しています。さらに学生寮を「キャンパス内」に配置することで、学修と生活を近づけるとともに、安全かつ安心な環境が整いました。

入寮する皆さんの毎日に彩りを与え、卒業後も記憶に残る学生生活を過ごせるよう、温かい環境を準備してお待ちしています。



学生相談室

学生相談室では、学生生活の中で生じる困りごとや悩みごとについてカウンセラーと話し合い、問題や課題を整理したり、解決に向けて方法を考えたりすることができます。

- **カウンセリング**
カウンセラーとの面談を通して、困りごとの解決の糸口を見つけしていきます。
- **外部支援機関の紹介**
クリニックや、外部支援機関の案内も行っています。

後援会

学部生および大学院生の保護者を会員とした組織です。一人ひとりの学生が、安心して充実した学生生活を送ることができるよう、さまざまな支援活動を行なっています。

- 学生主催、学生出演の演奏会への支援
- 音楽コンクール参加への支援
- キャリアアップを志向した各種資格取得への支援
- 合宿・海外研修参加費用の助成
- 大学学園祭「芸術祭」への支援
- インフルエンザ予防接種への支援
- 大学への支援(学生相談室、図書館、楽器寄贈)
- 入学お祝い品・卒業記念品の贈呈

Pick Up

東京音楽大学は、演奏会などでSDGsに取り組んでいます



「社会に開かれた大学」を目指して、東京音楽大学は「音楽文化の振興」と「地域社会の活性化」に向けて、毎年多くの学生が多様なプロジェクトに積極的に参加しています。在学中に社会との接点をつくることで、単に演奏活動だけでなく卒業後のキャリア形成も踏まえ、学生たちが音楽を通じて地域社会の課題解決に取り組むことなどにより、自らが社会との関わりを探り人格形成に寄与できています。令和4年7月には「環境方針」を定め、これを具現化するためにSDGs推進センターを設置し、その下にSDGs推進学生委員会を組織しました。この推進センターでは、13の推進施策に基づく各プロジェクトをSDGs推進学生委員会を中心に進めています。



(一般社団法人)ナカメリアマネジメントなどが策定する「中目未来ビジョン」検討会議への参加



NHKのSDGs番組の主題歌「ツバメ」の編曲と、ミュージックビデオ収録への協力



東京音楽大学SDGs推進センター



大学院音楽研究科

修士課程／博士後期課程

広い視野に立ち、音楽に関する精深な学術と技能を修得し、文化の進展に寄与する。

東京音楽大学は、1993年4月に大学院音楽研究科修士課程を設置し、その目的を「広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業などに必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与すること」と定め、以来、広く音楽界で活躍できる演奏家や作曲家、教育者や研究者の養成に専心し、着々とその成果を上げてきています。

2002年および2013年に入学定員を増員するとともに、社会人および外国人留学生の特別選抜制度を導入するなど、社会的要請も踏まえて優秀な学生を輩出しています。

さらに、グローバル化と知識基盤社会が進展する21世紀において、高度な専門能力とその基礎となる豊かな学識をもつ音楽家、音楽研究者の果たす役割は極めて大きく、これらの人材の育成を目的とする「博士後期課程」を2014年4月に新設し、魅力的な研究環境のもとで研究教育を進めています。

大学院音楽研究科の特徴

音楽の各分野における専門的・知識と研究能力を身につけるとともに、国際性・多様性を兼ね備え、社会・文化に貢献できる人材輩出を目指し、経験豊かな教員によるきめ細やかな指導体制と実践的なカリキュラムを用意しています。

大学院に関する授業内容、指導教員の詳細はホームページをご覧ください。
大学院入学案内も別途ありますので併せてご参照ください。



修士課程

芸術の「伝統と創造」

社会の急速な変化の中で、音楽芸術の研究はその普遍性を追求するとともに、時代への即応も求められます。本学大学院では、芸術の「伝統と創造」を教育研究テーマとして実技中心の柔軟性あるカリキュラムと新分野の研究領域を開設し、高い能力と豊かな人間性を有する人材の育成に努め、ディプロマ・ポリシーに掲げる以下の能力が身につくカリキュラムを展開します。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身につけ、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚をもち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

学位	■ 入学定員 70名
修士（音楽）	■ 資格 中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（音楽）を有する者が、所定の単位を取得して本大学院修士課程を修了した場合は、中学校教諭専修免許状（音楽）および高等学校教諭専修免許状（音楽）を取得できます。
器楽専攻	■ 鍵盤楽器研究領域 ■ 管打楽器研究領域 ■ 弦楽器研究領域 ■ 室内楽研究領域
声楽専攻	■ 独唱研究領域 ■ オペラ研究領域
作曲指揮専攻	■ 作曲研究領域 ■ 指揮研究領域
音楽文化研究専攻	■ 音楽教育研究領域 ■ 音楽学研究領域 ■ ソルフェージュ研究領域 ■ 多文化音楽研究領域 ■ 吹奏楽研究領域

器楽専攻

大学院では、知識と技術の修得にとどまらず、専門分野における研究課題を自ら定め、積極的に探究・努力し、客観性と説得力のある答えを導き出すことが求められます。専攻楽器の個人レッスン「器楽実習」のほか、「器楽特殊研究」「楽曲分析演習」の授業を通して、専攻レパートリーのアナリゼ、作曲家の人物像はもちろん、作品の時代背景、他の芸術分野などにも目を向け、より深い表現を目指します。加えて、室内楽、オーケストラ、吹奏楽の各実習を通して、さまざまな楽器の特性を意識し、より広い音楽的視野を備えたアンサンブル力も身につけることができます。修了時には1時間程度のプログラムを構成し、プログラム・ノート（プログラム構成の意図や楽曲解説）を添えて、自ら舞台上で演奏表現します。



声楽専攻

声楽専攻は〈独唱研究領域〉と〈オペラ研究領域〉に分かれ、各々の特性を意識した実践力を総合的に修得します。
〈独唱研究領域〉では、個人レッスンのほか、各国の歌曲を専門とする教員による授業を通して、個々の音楽性や声にあった歌曲や宗教曲などを探求し、修士演奏では自らプログラムを構成し、研鑽の成果を発表します。
〈オペラ研究領域〉では、指揮者、演出家、声楽家、コレペティトゥアから構成される万全の指導体制で、オペラを学ぶ最適な環境が用意されています。2年次の「オペラ総合実習」にて、各自演目を選択し、一部抜粋したプログラムを構成し、上演します。

また双方の領域学生が履修可能なオペラ特殊研究（通称：大学院オペラ）では、ヨーロッパや日本のオペラ作品について研究、演習を行い、実際に舞台上で試演会を行います。



修士課程

作曲指揮専攻

〈作曲研究領域〉従来の現代音楽中心の「芸術研究」と、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」に分かれ、自らの創作の基盤、起点となる課題に基づき、自主的な研究活動、発表を行うことで総合的な作曲能力の向上を目指します。

〈指揮研究領域〉高度で機能的な指揮の技法や幅広い音楽知識とともに、総合的な人間力を養います。高い見識と教養を身につけ、多様な人々と豊かな関係を築ける人間性をそなえた指揮者となることを目指します。



音楽文化研究専攻

教育、音楽、多文化など各々の研究領域からの視点を切り口に、各自が研究課題を定め、研究成果として論文や課題を仕上げます。その過程での問題提起の仕方、解決のための調査・方法論や文献探索などの情報収集と考察、必要に応じて語学力の修得、演奏や創作の実践を学びます。

〈音楽教育研究領域〉教員養成の枠組みにとらわれず多様な音楽活動の場を想定して、音楽と社会と人間との関わりに目を向け研究を行います。

〈音楽学研究領域〉音楽について学問的に調べ、言葉によって論ずる…その過程で身につく調査・考察・文章化・プレゼンテーション能力は、修了後、多様な分野での活躍を可能にします。

〈ソルフェージュ研究領域〉楽曲の総合的理解・把握・解釈を可能にする高度な読譜力を修得するとともに、オンラインを含む教育研究などPCを活用した音楽教材研究などにも取り組みます。

〈多文化音楽研究領域〉世界各地の伝統的な音楽文化を現代社会における文化の多様性の視点から探究し、新たな音楽文化を創造し、発信していくことを目指します。

〈吹奏楽研究領域〉演奏・指導法・社会的位置付け・歴史など、各自の研究テーマに応じて多角的に吹奏楽について実演を交えた研究を行い、理論と実際を学びます。



特徴的な指導方式

各分野の第一線で活躍する教員の指導の下、専門的な知識に裏付けられた演奏実践能力と探究・研究能力の双方を身につけられるカリキュラムを用意しています。

メッセージ

プロとして生きていくための技術や知識、心構えを養う。

卒業生



石井 晴菜

舞台俳優
2023年大学院修士課程音楽専攻オペラ研究領域修了
声楽専攻 2021年大学卒業(愛知県立明和高等学校音楽科卒業)

大学院に進学し、学部と一番大きく違うと感じたのは自分の興味をとことん掘り下げている環境があるという点でした。私の場合、専門であるオペラは「オペラ特殊研究」と「オペラ総合実習」で研究させていただき、興味のある歌曲分野も「歌曲分析演習」でドイツ語やロシア語の歌曲を中心に研究させていただきました。

「オペラ総合実習」では、自分で選んだオペラシーンを指揮・演出・音楽指導の先生についていただき一年かけて研究していきます。学生は自分ひとりという大変贅沢な環境で、音楽的な技術はもちろん今後舞台人として生きていくために必要な要素をすべてご指導いただきました。これからプロとして生きていくことを前提として進めてくださった授業は、大変ありがたく学びの多い時間でした。

博士後期課程

「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」

これらを兼ね備えた音楽家、研究者を育成し、音楽文化の新たな地平を積極的に拓いていける人材を社会に送り出しています。

音楽専攻

- 学位 ・博士(音楽) ・博士(音楽教育学) ・博士(音楽学)
- 入学定員 3名(社会人および外国人留学生を含む)

博士後期課程・音楽専攻

実社会で活躍していくために必要な専門性、総合性、社会的・実践的能力の獲得を目指し、「専門研究科目」(選択必修)において専門性を高め、「共同研究科目」(選択必修)においてより広い知見と社会的・実践的能力を培い、「総合研究科目」(必修)においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置しています。学位取得者には本学で教育・研究活動を継続できるキャリアパスも開かれています。



特徴的な指導方式

「共同研究科目」では、さまざまな専門の学生と教員が協働して、コンサート企画・開催や研究論文集作成などのプロジェクトに取り組み、本学博士課程における指導・研究体制の大きな特色となっています。

メッセージ

じっくり時間と労力をかけることが、揺るぎない実力となる。

卒業生



竹内 彬

国立大学法人愛媛大学教育学部 音楽教育講座専任講師(管楽器)
2021年大学院音楽研究科博士後期課程クラリネット修了
2011年群馬大学教育学部 音楽専攻卒業

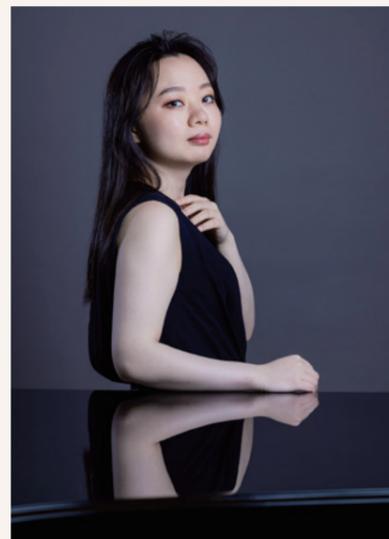
修士課程、博士後期課程を経て気づいたことは、自分は音楽についてまだまだ知らないことだらけだということでした。だからこそ生涯を通して、さまざまな角度から音楽を探求し続けたいと今の私は胸を張って言えます。

最近、タイム・パフォーマンス(タイパ)という言葉が聞かれますが、音楽の研究は一般的な尺度からすれば時間対効果が高くないことも多く、目に見える成果や実力がすぐに得られず焦ったり、将来のことで不安になったりすることもあると思います。しかし学校という守られた環境で、先生方の温かな眼差しの下、音楽に没頭できるのは学生の特権です。時間と労力をじっくりかけるからこそ見つけられること、磨き上げられたことは、なにものにも代え難い揺るがぬ礎になると思います。卒業後は、自分の力だけで自分を成長させなければなりません。今しかできない貴重な期間に、音楽と向き合う力をぜひ鍛えてほしいと思います。

Concours

東京音楽大学は
チャレンジの精神を大切にします。

本学の学生はコンクールに意欲的にチャレンジし、毎年の入賞、入選者は100名を超えます。
音楽家の登竜門とも言われる国内外のコンクールで優秀な成績を収め、現在第一線で活躍している卒業生が数多くいます。



© 福岡諒河

**第92回日本音楽コンクール ピアノ部門第1位および岩谷賞（聴衆賞）あわせて、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞、INPEX賞
第47回ピティナ・ピアノコンペティション2023特級 グランプリ、聴衆賞第1位**

鈴木 愛美

大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域（ピアノ）1年
ピアノ演奏家コース 2024年大学卒業（大阪府立夕陽丘高等学校卒業）

私は幼少の頃からコンクールで輝かしい結果が出ていたわけではありませんでした。しかし、そのような私にも石井克典先生は「あなたは、音楽的にとても難しい作品を弾くことができる才能、感性を持っている。あなたの音楽には稀有な魅力がある」と言って私の可能性を信じてくださり、常に熱心にご指導を続けてくださいました。尊敬する先生からのその言葉は今でも心に残っており、とても励みになりました。また4年間ダブルレッスンで大変お世話になった仲田みずほ先生は、どんな時も本当に温かく向き合ってくださいました。東京音楽大学への進学は、石井克典先生のもとで勉強したく決心したのですが、とても質の高い練習環境、図書館、録音・録画スタジオなど、音楽を勉強する上でこれ以上ない環境が整った4年間でした。そして、学年や専攻の垣根を越えて出会った友人との交流から多くの刺激をいただきました。恵まれた環境で勉強できていることに感謝しております。

**第92回日本音楽コンクール ホルン部門第1位および岩谷賞（聴衆賞）あわせて、瀬木賞、INPEX賞
第38回日本管打楽器コンクール ホルン部門第1位**

吉田 智就

ホルン
2024年大学院科目等履修生修了
2022年大学卒業（東京音楽大学付属高等学校卒業）

付属高校から現在まで一貫して東京音楽大学で学んできました。その中で将来プロの演奏家として活動していくという目標をたて、現在の自分の立ち位置を確認できるよい機会として、いくつかのコンクールに挑戦してきました。

昨年は日本管打楽器コンクールと日本音楽コンクールが同年開催となり、また日本音コンのホルン部門本選がはじめてリサイクル形式で行われ準備が大変でしたが、それぞれのコンクールの課題に取り組む過程で、専攻にとらわれず多くの先生方に指導していただいたり、不安な時は切磋琢磨する仲間から刺激を受けモチベーションを保ちました。自分にとっては日々大学に通いたくさんのサポートを受けつつホルンに専念できる恵まれた環境に身を置けたことが、いくつもの大きなコンクールの受賞に結びついたと思っています。今回の結果をひとつのチェックポイント、また新たなスタート地点としてとらえ、日々の歩みを止めることなく、自分が理想とする音楽を表現できるような演奏家を目指して行きたいと思っています。



2023年度 主なコンクール等入賞者

掲載しているのは一部です。ホームページをご覧ください。
※学年は受賞時の学年、副賞はひとつのみの掲載。

コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻・学年/卒業年
第92回日本音楽コンクール	ピアノ部門	第1位、岩谷賞（聴衆賞）ほか	鈴木 愛美	ピアノ演奏家コース4年
第92回日本音楽コンクール	ホルン部門	第1位、岩谷賞（聴衆賞）ほか	吉田 智就	大学院科目等履修生
第92回日本音楽コンクール	声楽部門	第3位	砂田 愛梨	大学院修士課程2015年修了
第47回ピティナ・ピアノコンペティション2023	特級	グランプリ、聴衆賞第1位	鈴木 愛美	ピアノ演奏家コース4年
第8回アドルフ・サックス国際コンクール（ベルギー）		第5位	五十嵐 健太	サクソフォン4年
ロン＝ティボー国際音楽コンクール（パリ）	ヴァイオリン部門	第5位	橋和 美優	大学院修士課程1年
第4回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール		第2位および聴衆賞	佐川 和牙	大学院研究生
第21回東京音楽コンクール	ピアノ部門	第1位	佐川 和牙	大学院研究生
第21回東京音楽コンクール	木管部門	第1位	保崎 佑	アーティストディプロマコース（ファゴット）
バルトーク国際コンクール（ハンガリー）	ヴァイオリン部門	第2位	関 朋岳	アーティストディプロマコース2023年修了
第25回ホテルオークラ音楽賞			前田 妃奈	ヴァイオリン3年
第33回出光音楽賞			前田 妃奈	ヴァイオリン3年
第38回日本管打楽器コンクール	ホルン部門	第1位、文部科学大臣賞ほか	吉田 智就	大学院科目等履修生
奏楽堂日本歌曲コンクール第29回作曲部門	作曲部門	第1位	斉 芸瑛	大学院修士課程2年
第12回JFC作曲賞コンクール		JFC作曲賞	斉 芸瑛	大学院修士課程2年
第3回国際エドゥアルダス・バルシス若手作曲家コンクール（リトアニア）	メイニンググループ	第2位	汪 誠晨	大学院修士課程2023年修了
第40回現音作曲新人賞		新人賞	魯 戴維	大学院博士後期課程
第33回バルレッタ市国際青少年音楽コンクール（イタリア）	作曲部門A類	第1位	魯 戴維	大学院博士後期課程
第40回ソレイユ声楽コンクール		第2位、優秀賞	老川 鈴明	声楽4年
第13回国際オーボエコンクール・東京		入賞ならびに奨励賞	榎 かぐや	オーボエ 2022年卒業
第25回日本演奏家コンクール	ピアノ部門 大学生の部	第1位、グランプリほか	新野 由芽	ピアノ演奏家コース
第5回ラファミノフ国際ピアノコンクールJAPAN		第1位、ラファミノフ大賞	津野 絢音	ミュージック・リベラルアーツ専攻ピアノ演奏家コース2年
第29回KOBE国際音楽コンクール	打楽器 C部門	最優秀賞、神戸市民文化振興財団賞	山崎 香奈	打楽器3年
第29回KOBE国際音楽コンクール	ピアノ C部門	最優秀賞、兵庫県教育委員会賞	鳥生 祐希	大学院修士課程2年
アレクサンドリア国際ギターコンクール（イタリア）	クラシックギター	第1位	山田 唯雄	クラシックギター 2017年卒業
コブレント国際ギターコンクール“フーバート・ケッペル” 2023（ドイツ）	クラシックギター	第3位	山田 唯雄	クラシックギター 2017年卒業
第8回香港国際ハーブコンクール（香港）		銀メダル	景 晨陽	大学院科目等履修生
第6回スペイン音楽・中南米音楽国際コンクール	声楽部門	第2位、スペイン大使賞	水野 亜歴	大学院修士課程 2013年卒業
第8回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア	E部門	第1位、特別賞ほか	佐藤 史帆	ピアノ演奏家コース1年
第25回ショパン国際ピアノコンクールinASIA	大学生部門	全国大会金賞、アジア大会奨励賞	柿沼 明莉	ピアノ演奏家コース2年
フランコ・ゴッリ国際コンクール（イタリア）	ヴァイオリン部門	第1位	塚本 禎	大学院修士課程2年
第53回フランス音楽コンクール	声楽部門	第2位（1位なし）月刊「音楽現代」賞ほか	中村 里咲	大学院修士課程1年
第19回ルーマニア国際音楽コンクール	打楽器部門	第1位、特別賞	近江 雅宏	打楽器4年
第39回打楽器新人演奏会		最優秀グランプリ賞、岩城宏之賞	尾崎 夏子	大学院修士課程1年

ほか多数

東京音楽大学コンクール 学年・コースの枠を越えて、切磋琢磨し、高め合う。

本学主催の東京音楽大学コンクールは、学生の演奏意欲と表現技術の向上を目的として2002年より毎年開催されています。その大きな特徴は、学年やコースの枠を越えて審査が行われること、国際的に活躍している学外の演奏者・指導者の先生方に審査を依頼していることにあります。隔年で、「声楽部門・ピアノ部門」と「弦楽器部門・管打楽器部門」が開催されています。入賞者には賞状と賞金が授与され、今後の音楽活動に生かせるよう個別に詳細な講評も与えられます。これまでの本コンクール入賞者は、その後国内外の数多くの主要なコンクールにも入賞しています。



2023年度 第22回 本選結果

【弦楽器部門】

- 第1位 保科 結太（ヴァイオリン／学部2年）
- 第2位 鈴木 海市（チェロ／アーティストディプロマ）
- 第3位 高田 桜佑（ヴァイオリン／付属高校1年）

【管打楽器部門】

- 第1位 榛葉 心梨（フルート／学部2年）
- 第2位 立岩 亜唯（ファゴット／学部3年）
- 第3位 安齋 里玖斗（ファゴット／学部1年）

演奏家、教育者、企業人として 多くの卒業生が活躍しています。

今につなげてくれた大学での学び。

現在、世界各国でコンサート活動していますが、在学中に2回挑戦した国際コンクールのおかげで、今につながっています。前学長の野島稔先生をはじめ、鷲見加寿子先生には大変お世話になり、コンクールへのサポートをいただいたことに本当に感謝しています。大学の授業もとても楽しく興味深く、音楽だけでなく教養科目の授業もプロフェッショナルな先生方ぞろいです。外国語の授業では、ロシア語、英語、ドイツ語を学んでいたおかげで、海外に行っても役立つことを実感しています。欲を言えば、もっと勉強したかったかなと。駆け足で過ぎ去った大学生活でしたが、多くの友人との出会いにも恵まれ、ともに過ごした時間は貴重な財産となっています。

ピアニスト 藤田 真央

ピアノ演奏家コース・エクセレンス 2020年大学早期卒業



© EICHI IKEDA

人間力を鍛えるレッスンで今の指揮者としての自分がある。

東京音楽大学での4年間でなければ、今の私はありませんでした。指揮のレッスンは、音楽のことはもちろんですが、自分のことを理解し、社会の中でどうやって生きていくか、いわば人間力を鍛えるレッスンだったように思います。オーケストラというのは、社会の縮図のようなものだと思っています。いろんな考えをもって当然。中には真逆な考えをもっている人もいます。自分と考えが違うからおもしろくないと思うのか、自分と考えが違うからこそもっと知りたいと思えるのか、大きな違いです。東京音楽大学で日々レッスンに打ち込んだからこそ、考えの違う人たちのことに興味をもてる人間になりました。そうでなければ、指揮者という職業は務まらないと思いますし、だからこそ今の私があるのかもしれない。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 正指揮者
オーケストラ・アンサンブル金沢 パーマネント・ゲストコンダクター
札幌交響楽団 正指揮者

川瀬 賢太郎

指揮 2007年大学卒業



写真提供:名古屋フィルハーモニー交響楽団



© Makoto Kamiya

すてきな出会いとたくさんの挑戦を見守ってくれる環境。

東京音楽大学での4年間は、音楽だけでなく人としても成長できた4年間だったと思います。音楽活動をしていく中で学業との両立は大変でしたが、実技の先生だけでなく、大学の先輩方やたくさんの先生方との出会いが私にとってかけがえのないものでした。壁にぶつかったことも辛いこともたくさんありましたが、大学に行くといつも温かく見守ってくださる先生方がいて、常に前を向いて乗り越えることができたなと思います。のびのびといろんなことに挑戦でき、それを温かく見守ってくださる環境が東京音楽大学にはあります。これからも、この人とまた一緒に演奏したい、そう思ってもらえる音楽家でいたいと思っています。

ヴァイオリニスト 辻 彩奈

アーティストディプロマコース 2020年大学卒業

声の成長にいつも寄り添ってくれた先生。

東京音楽大学付属高校から同大学院まで菅有実子教授のご指導の下、学びました。大学で有意義な時間を過ごしたことが、今の自分のベースになっています。声の成長は人それぞれです。音楽をやっているといつも悪い時もあります。そんな時、いつも先生が親身になって寄り添ってくださったおかげで今も歌を続けることができています。学生時代は、たくさんのコンクールやオーディションに挑戦し、学内外や人前で演奏する場をいただいたことで、自信につながりました。大学には、個性を尊重しながらいろいろな音楽性を引き出してくれるような自由な雰囲気がありました。プロフェッショナルな先生方に手厚くバックアップしていただいたおかげで、やりたいことは全力で取り組むことができました。皆さま!大学生活はあっという間ですが、一步一步自分らしく歩いていってください。

オペラ歌手 高野 百合絵

2019年大学院声楽専攻独唱研究領域修了 / 2017年大学卒業



演奏家として大きく成長できる、チャンスに出会える場。

東京音楽大学で過ごした4年間の経験が、現在の私の演奏家としての大きな土台となっています。すばらしい先生方の熱心なご指導により、演奏技術はもちろんのこと、切磋琢磨し合える仲間たちとの出会いを通して人としても大きく成長することができたように感じます。東京音楽大学は、個人レッスンだけでなくオーケストラや吹奏楽、室内楽などの実技の授業もとても充実しています。また、学内コンクールや選抜演奏会など、可能性を引き出してくれるチャンスが数多くあります。自分自身と音楽に真摯に向き合えば、それらはすべて生かされる時が必ず来るはず。ぜひ東京音楽大学でさまざまなことにチャレンジしてみてください。

NHK交響楽団首席オーボエ奏者 吉村 結実

器楽専攻オーボエ 2012年大学卒業



プロフェッショナルの世界の洗礼を受けた学生時代。

学生時代、私にとって一番ためになったのは、授業で毎週必ず、曲を書く課題に取り組んだことです。プロフェッショナルになると毎日何曲も作り続けなくてはなりません。私は入学直後から曲を締切りまでにコンスタントに作り続けるという「プロフェッショナルの世界の洗礼」を受けていたわけです。在学中は学内でトップクラスの器楽専攻の学生に自分が書いた曲を演奏してもらったり、上手なシンガーを見出してデモテープを作ったりと課外活動も積極的に行っていました。この世界でやっていく一番の条件は「情熱」です。限りあるこの4年間で、いろいろなチャンスを貪欲にたぐり寄せ、東京音楽大学で学ぶメリットを最大限に利用してほしいと思います。

作曲家 菅野 祐悟

作曲「映画・放送音楽コース」(2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合) 2001年大学卒業

音楽から学んだことは、その後の人生でも生きる。

大学卒業後は、京都大学大学院法学研究科で法律を学び、福岡の鴻和法律事務所で弁護士として働いています。東京音楽大学では、著名な演奏家や指導者の公開レッスンなど、本物の音楽を学ぶ機会が溢れていて、とても刺激的な授業の連続でした。音楽と真摯に向き合うことは決して容易なことではないのですが、日々努力を積み重ねることにより、自然と「忍耐力」が身についたように感じます。また、常に一度しかない演奏の中でベストをつくすことによって、「集中力」が磨かれたと思います。音楽も法律も分野は違いますが、どちらもプロフェッショナルな領域です。東京音楽大学というプロフェッショナルな環境で学んだことは大きな自信となっていますし、そこで培われた「忍耐力」と「集中力」は、弁護士としてさまざまな難しい案件に取り組む上で強みになっていると思います。

弁護士 塩崎 智子

ピアノ演奏家コース 2009年大学卒業



音楽を通して吸収した強みは、社会に大いに通用する。

東京音楽大学で学んだ日々は、人生の中で一番楽しい4年間でした。普通高校からの進学だったため、学べるものはすべて吸収したい気持ちが膨らみ、時間割はびっしり(笑)。また、芸祭実行委員でスポンサー集めをする渉外係を担当した経験を通して、他専攻と横のつながりができたとともに、楽しみつつ社会勉強もできました。卒業後は企業での就労15年と男子3人の出産を経て、現在は国家公務員として内閣府で働いています。仕事や育児で行き詰まることがあっても乗り越えられてきたのは、大学時代に養われた集中力や折れない心のおかげ。困難を極める案件も、はじめての作品に取り組むように集中し、コツコツと新しい経験を積み重ね、成長し続けられることへのよろこびを感じながら働く日々です。

国家公務員(内閣府) 戸田 絵美

音楽教育専攻(2020年度より音楽文化教育専攻に改編) 2003年大学卒業

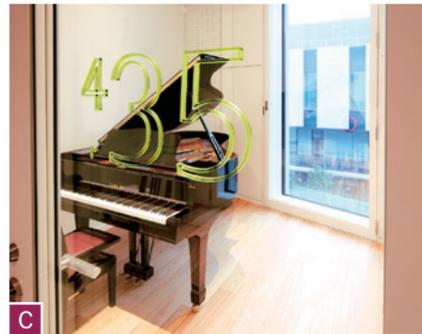
中目黒・代官山 キャンパス



A



B



C



D



E



F



G



H

池袋キャンパス



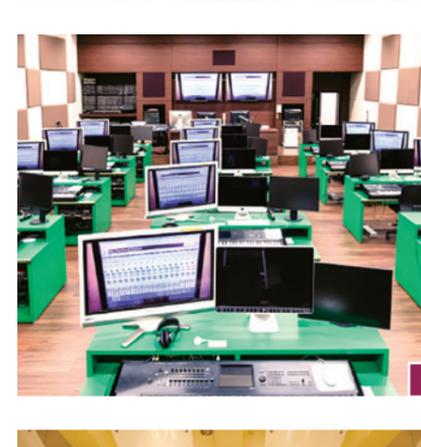
I



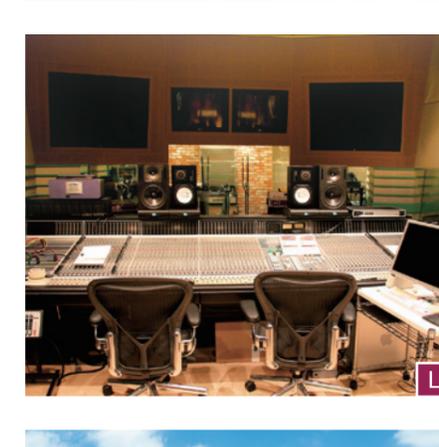
J



K



L



M



N



N

中目黒・代官山キャンパス

A TCMホール

音が回遊し包まれるように設計されています。ソロ、デュオはもちろん、室内オーケストラも最適な響きで演奏、鑑賞することができます。

B レッスン室

80室以上あるレッスン室は、木のぬくもりを感じる最適な音響を備えています。音の反射、拡散、吸音のバランスを考慮した穴あき特殊壁。

C 練習室

レッスン室同様に最適な音響を備えています。2キャンパス合わせていつでも練習できる部屋数を有し、練習に集中できます。

D キーボード室

キーボードハーモニーやピアノ・プラクティカル・トレーニングなどの授業が行われています。

E TCMスタジオ

全専攻の学生が利用できるレコーディングスタジオです。最先端の録音機材を採用しています。

F コンピュータ室

Apple Macintoshコンピュータを活用した楽譜作成の技術を習得する授業を開講しています。

G みどりの鎌倉街道

第28回緑の環境プラン大賞特別企画『おもてなしの庭』部門の大賞を受賞。

H 学生レストラン

「音楽の森」と「みどりの鎌倉街道」に囲まれた、自然を感じる安らぎのあるレストランです。

池袋キャンパス

I 100周年記念ホール

806席あるシューボックス型の音楽ホールで、オペラ上演をはじめ、年間多くの演奏会を開催しています。

J ガレリア

トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのギャラリーを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置した開放的な空間。

K 教室(ミニホールA200教室)

高度な音響性能を要求される教室が多数配置されています。ミニホール(202席)は教室として講義や公開レッスン、試演会などにも使用されます。

L J館地下レコーディングルーム/DAWルーム

商業音楽分野で必要とされる作曲技法の修得、スタジオレコーディングなどを学ぶ場所です。2019年に大幅な改修工事を行い、さらに充実した設備環境を実現しました。

M B館スタジオ

オランダ製のパイプオルガンを配置したスタジオ。オルガンレッスンのほか、オーケストラや吹奏楽などの授業が行われています。

N J館

2020年度より付属高等学校が池袋キャンパスに移転したことに伴い、特色ある高大一貫教育を推進しています。

TOM 東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス (学校法人本部)
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1
TEL.03-6455-2700 FAX.03-6455-2770

池袋キャンパス
〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5
TEL.03-3982-3186 FAX.03-3982-3183



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp>

池袋キャンパス

J R / 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私 鉄 / 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
地下鉄 / 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
都 電 / 荒川線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
都バス / 「南池袋一丁目」より徒歩約3分

中目黒・代官山キャンパス

J R / 「恵比寿駅」より徒歩約14分
私 鉄 / 東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分
地下鉄 / 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分

